

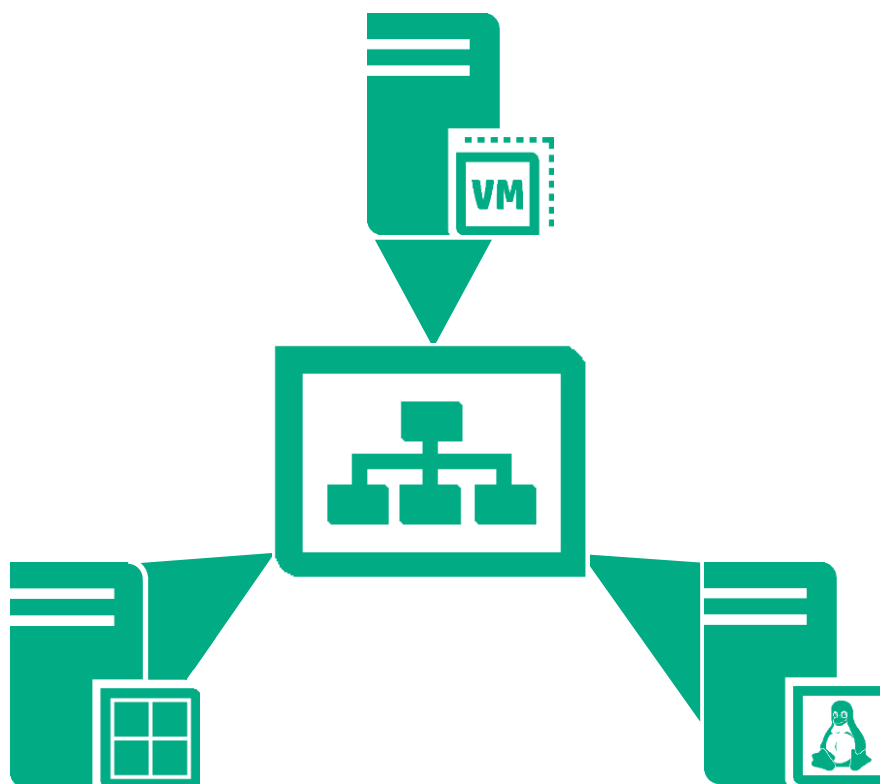


Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant ソフトウェア編

システム構成図

2025 年 1 月 16 日



HPE ProLiant ソフトウェア編

◆管理ソフトウェア

【HPE OneView】

: HPE Converged Infrastructure を具現化する HPE Synergy ならびに HPE ProLiant サーバー用の次世代統合プラットフォーム [\(P.03\)](#)

◆HPE ProLiantサーバーOS

Windows Server OS	(P.07)
・ HPE OEM版Windows Server OS	(P.10)
・ Windows Server 2022 ROK製品	(P.10)
・ Windows Server 2025 ROK製品	(P.11)
・ Windows Server 2022 / 2025 CAL / RDS CAL	(P.12)
・ Windows Server OSダウングレード	(P.13)
SUSE Linux Enterprise Server	(P.14)
Red Hat Enterprise Linux	(P.18)

◆HPEソフトウェア製品のサポート サービス

ソフトウェア製品向け保守サービスの概要	(P.26)
OneView製品のソフトウェア テクニカル サポート	(P.27)
OS製品のソフトウェア テクニカル サポート	(P.27)
・ Windows Server 2022用HPE Tech Careサポート サービス	(P.27)
・ Windows Server 2025用HPE Tech Careサポート サービス	(P.28)
・ Windows Server OS製品用ソフトウェア テクニカル サポートの対象製品リスト	(P.29)
HPEサービス クレジット	(P.30)

HPE OneView

【概要】

HPE OneView は、HPE Converged Infrastructure を具現化する HPE BladeSystem ならびに HPE ProLiant サーバー用の次世代統合管理プラットフォームです。HPE Systems Insight Manager (SIM)、HPE Insight Control (IC)、そして HPE Virtual Connect Enterprise Manager (VCEM) の機能を一つのツールで担うことができ、複雑なサーバー、ストレージ、ネットワークのインフラストラクチャーをシンプル、効率的に統合管理するソフトウェアです。サーバー向けの資産管理、監視、アラート等の機能を無償で提供する HPE OneView Standard と、プロファイル設定、ストレージ管理、電力管理など先進的な管理が可能な HPE OneView Advanced (従来の HPE OneView ライセンス製品は HPE OneView Advanced) があります。

特徴

- ・「1 ツール、1 ビュー」をコンセプトに、1 つに統合化された管理プラットフォーム
- ・各種設定に関する社内ポリシーやベストプラクティスの定型化と、自動展開によるプロビジョニングの高速化
- ・ユーザー独自の管理ツールや業界標準ソフトウェアとのオープンな統合が可能なアーキテクチャー

主な機能

HPE OneView には、管理業務視点で作られた直感的なデザインとシンプルさ、効率が優先された各種機能が実装されています。

* プロファイル

社内ポリシーに基づく各種設定、ベストプラクティスをプロファイルとして定型化・定常化します。

本機能は HPE Virtual Connect Enterprise Manager にて提供してきた実績あるテクノロジーです。

ファームウェア、RAID 設定、NIC チューニング、IP アドレス設定、iLO の設定などについて、単一のツールによる高速セットアップを可能にします。

* テンプレート

サーバー、ストレージ、ネットワーク、それぞれの有識者が一度設定したプロファイルはテンプレートとして自動展開できます。

エンクロージャーやバーチャルコネクトを含めた多数のサーバーへも展開と管理、そして新規システム追加時の圧倒的な時間短縮と手間の削減を実現します。

* 各種コンソール

シンプルさを追求した各種ツールを提供します。

- ・ Smart Search : 必要な情報のみを瞬時に検索
- ・ Dashboard : キャパシティやヘルス状況を一望
- ・ Map View : 複数のデバイス間の関係をマップ状に可視化
- ・ アラートやメッセージを瞬時に受信 …など

* オープンな設計思想

既存の管理ソフトウェアやユーザー企業の独自ツールとの統合を容易にする設計様式、REST API を採用しています。

また、Openstack、マイクロソフト、Red Hat、VMware といった業界標準ソフトウェアとの連携も容易にできます。

* ヘルス監視機能

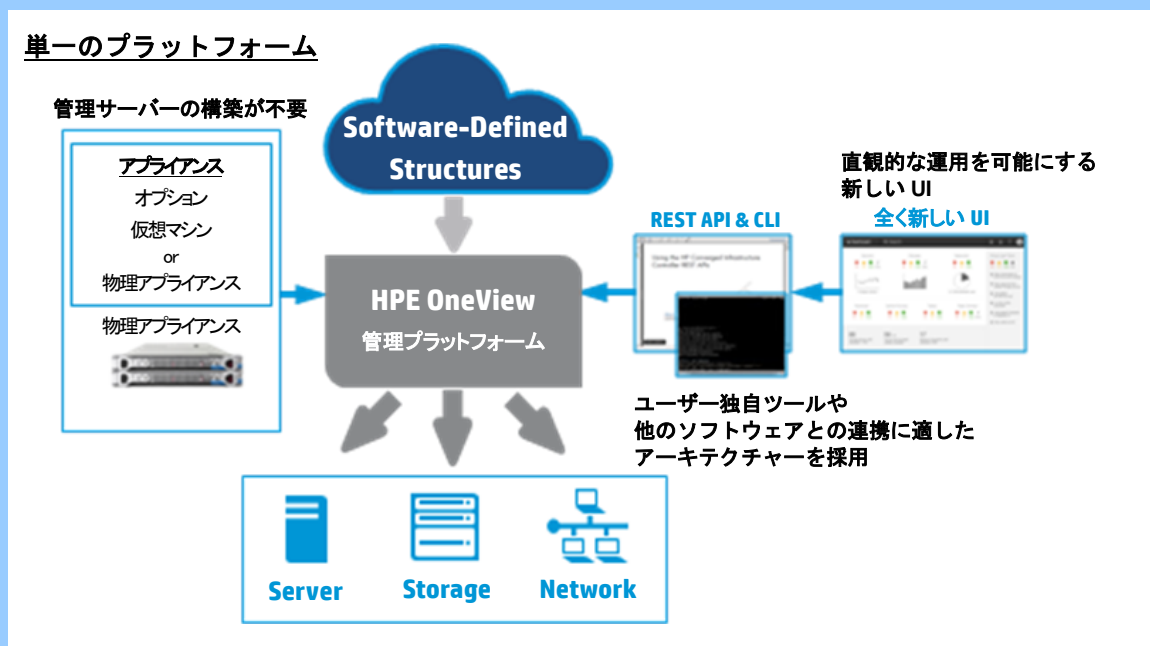
SNMP トラップ登録の自動化、HPE iLO Management Engine を利用した完全なエージェントレス運用など、負荷の少ない監視を実現します。

また、受け取るアラートの深刻度別 / システム別フィルタリング機能も装備します。

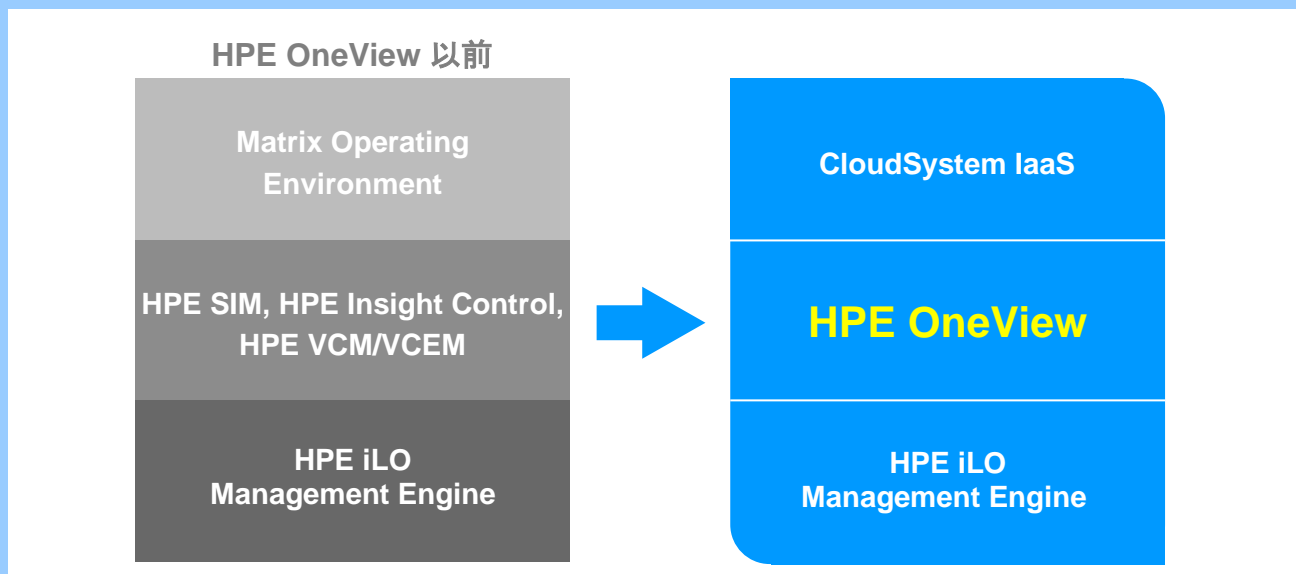
* ファームウェア更新

ISO 形式の HPE Service Pack for ProLiant (SPP) を HPE OneView に取り込む形で、更新プロセスの多くのタスクを自動化します。

HPE OneView の管理イメージ



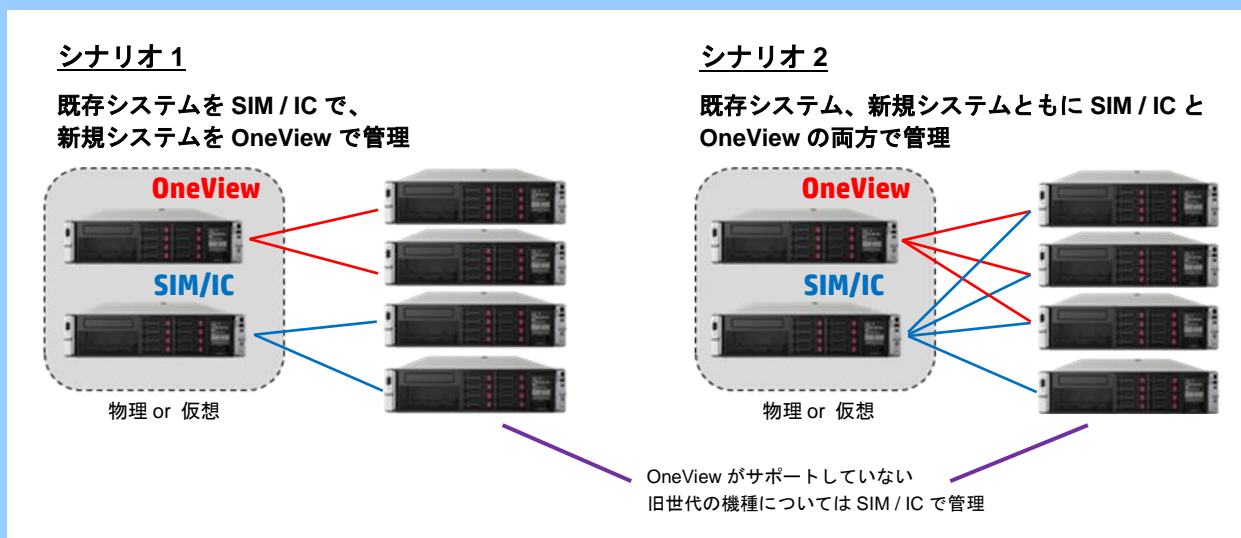
HPE OneView の位置づけ



◆従来の HPE Systems Insight Manager (SIM)・HPE Insight Control (IC)・HPE Virtual Connect Manager / HPE Virtual Connect Enterprise Manager (VCM / VCEM) の機能は、HPE OneView の一元管理になります。(HPE BladeSystem 関連は、HPE OneView バージョン 6.6 まで)

既存管理環境との統合

HPE Systems Insight Manager (SIM) と HPE Insight Control (IC) と HPE OneView 共存のシナリオ



* シナリオ 2 の既存システムの OneView での管理は、OneView がサポートしている機種であることが条件になります。
* SIM / IC も仮想化が必要となるため、OneView と同じ物理サーバー上に仮想マシンとして配置可能です。

【HPE OneView 9.2 システム要件】※HPE OneView は仮想マシンのアプライアンスとして動作します。

仮想マシン(ホスト) の要件

仮想マシン*1	<p>ハイパーバイザー</p> <ul style="list-style-type: none"> VMware vSphere ESXi 6.5 u2、6.5 u3、6.7u2、6.7u3、7.0u1、7.0u2、7.0u3、8.0、8.0u1、8.0u2、8.0u3 Microsoft Windows Hyper-V Server 2016、2019 (LTSC)、2022 Microsoft Windows Server *2 2016、2019 (LTSC)、2022 Red Hat Enterprise Linux KVM 7.8、7.9、8.2、8.3、8.4、8.5、8.6、8.7、8.8、8.9、8.10、9.0、9.1、9.2、9.3、9.4 Ubuntu Linux Server KVM 20.04 LTS、22.04 LTS、24.04 LTS <p>アプライアンス VM の要件 (ProLiant Gen8 以降のサーバーがハイパーバイザーの物理ホストとして必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2GHz 以上仮想 CPU ×8 個 シックプロビジョニングされた 275GB のディスク容量(シックプロビジョニングではない) 管理 LAN への接続 (管理用とデータ用で分けたネットワークを推奨) NTP による時刻同期
ファームウェア	<p>アクティブな管理および監視を行うための最小ファームウェア バージョン</p> <ul style="list-style-type: none"> HPE Superdome Flex Rack Management Controller 3.0.512 HPE Superdome Flex 280 Rack Management Controller 1.0.x HPE Compute Scale-up Server 3200 1.10.x Gen11 サーバー用 HPE Insight Lights-Out 6 1.10 Gen10 / Gen10 Plus サーバー用 HPE Insight Lights-Out 5 2.10 Gen8 / Gen9 サーバー用 HPE Insight Lights-Out 4 2.40 Gen8 サーバー用 HPE Intelligent Provisioning 1.61 (AMD システム) / 1.20 (Intel システム) Gen9 サーバー用 HPE Intelligent Provisioning 2.0 Gen10 / Gen10 Plus サーバー用 HPE Intelligent Provisioning 3.40 Gen11 サーバー用 HPE Intelligent Provisioning 4.00 (AMD システム) / 4.10 (Intel システム) HPE Service Pack for ProLiant 2023.09.00.00 以降
Web ブラウザー*3	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome Mozilla Firefox ESR (Extended Support Release)
解像度	<ul style="list-style-type: none"> 1024×768 (最小) 1280×1024 以上 (推奨)

*1: **【重要事項】** HPE OneView では、既存の VC (Virtual Connect) ドメイン構成をインポートできません。このため、HPE OneView で管理する予定のエンクロージャーに設置されたホスト システムを選択しないでください。ただし、HPE OneView で管理する予定の ProLiant DL ラックマウント型サーバーに設置されたホスト システムは選択できます。

*2: Microsoft Windows プラットフォームに Hyper-V 機能がインストールされている場合にサポートします。

*3: 可能な限り最新バージョンのブラウザー ソフトウェアをご利用ください。HPE ではサポートされる Web ブラウザーの新しいバージョンおよびアップデートをサポートできるように最大限努力しますが、その Web ブラウザーがリリースされた時点から、HPE OneView がそのブラウザーをサポートするようになるまでに、時期のずれが生じる場合もあります。

* システム要件の詳細は、右記 Web サイトにある HPE OneView Support Matrix を参照ください。 <https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

サポートされるハードウェアの要件

サーバー	<ul style="list-style-type: none"> HPE ProLiant DL Gen8、Gen9、Gen10、Gen10 Plus / v2、Gen11 シリーズ HPE ProLiant ML350 / ML110 / ML30 Gen9、Gen10、Gen10 Plus、Gen11 シリーズ HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus、Gen10 Plus v2、Gen11 HPE ProLiant XL シリーズ Apollo 2000 / 4200 / 4510 / 6000 / 6500 Gen9 / Gen10 / Gen10 Plus シリーズ HPE ProLiant DX170r / DX190r / DX360 / DX380 / DX560 / DX4200 Gen10、DX380 / DX385 Gen10 Plus、DX325 / DX385 Gen10 Plus v2、DX320 / DX325 / DX360 / DX380 / DX380a / DX385 / DX560 / DX4120 Gen11 HPE Superdome Flex / Superdome Flex 280 server、HPE Compute Scale-up Server 3200 HPE Alletra Storage Server 4110、4120、4140 HPE ProLiant RL300 Gen11、ProLiant ML Gen8 / Gen9 / Gen10 (ML10 除く) シリーズ、StoreEasy 1x60 / 1x70 シリーズ、ProLiant XL Gen10 以前および ProLiant DX シリーズは、監視機能のみ対応
------	---

* その他、サポートされるストレージ システムおよびホスト バス アダプター、ネットワーク カード、インターコネクト モジュール、ネットワーク スイッチなどについては、右記 Web サイトにある HPE OneView Support Matrix を参照ください。 <https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

構成の制限 (最大構成)

・サポートされる管理対象サーバー台数は 740 台まで、監視対象サーバーは 1024 台までとなります。

・管理対象のファームウェアは、HPE Service Pack for ProLiant (SPP) を保存するストレージ最大容量である 100GB まで保持することができます。

・同時接続可能なユーザー数は最大 5 名までとなります。

* その他、接続に関する制限数は、右記 Web サイトにある HPE OneView Support Matrix を参照ください。 <https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

【ライセンスおよびパッケージ】

製品番号	製品名	税抜価格	備考
E5Y34A	OneView Advanced 1 サーバーライセンス (3年 24x7 サポート付)	88,000 円	・ OneView Advanced ライセンス ・ iLO Advanced ライセンスを含む ・ メディアなし(ダウンロード)
P8B24A	OneView Advanced iLO Advanced なし 1 サーバーライセンス (3年 24x7 サポート付)	73,000 円	・ OneView Advanced ライセンス ・ iLO Advanced ライセンスは含まず ・ メディアなし(ダウンロード)

- * OneView Advanced の管理対象となる 1 サーバーごとに 1 ライセンスが必要となります。
- * 上記ライセンス製品については、同梱されるEntitlement Certificate (ライセンス権利付与書) でライセンス キー取得が必要です。ライセンスキー取得の方法は、右記Webサイトを参照してください。マイライセンスポータル: <https://myenterpriselicense.hpe.com/>
- * 上記ライセンス製品は、3年間 24時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Essential サポート サービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。
- * 上記ライセンス製品には、メディアは添付しておりません。下記 Web サイトからダウンロードして入手してください。
<https://myenterpriselicense.hpe.com/cwp-ui/free-software/>

【アップグレード ライセンス】

製品番号	製品名	税抜価格	備考
F6Q91A	OneView Advanced アップグレード ライセンス(3年 24x7 サポート付)	64,000 円	・ iLO Advanced、Insight Control または VCEM のいずれかが適用されたサーバー向けのアップグレード ライセンス ・ メディアなし (ダウンロード)

- * 上記製品は、既に iLO Advanced、Insight Control、Virtual Connect Enterprise Manager のいずれかのライセンスが適用されたサーバーに適用いただけます。
- * 上記製品にバンドルされた 3年間の 24x7 テクニカルサポートは、アップグレード元の既存製品の保守契約レベルや有効な残り日数には依存しません。
- * 上記ライセンス製品については、同梱されるEntitlement Certificate (ライセンス権利付与書) でライセンス キー取得が必要です。ライセンスキー取得の方法は、右記Webサイトを参照してください。マイライセンスポータル: <https://myenterpriselicense.hpe.com/>
- * 上記ライセンス製品は、3年間 24時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Essential サポート サービス 3年相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。
- * 上記製品には、メディアは添付しておりません。下記 Web サイトからダウンロードして入手してください。
<https://myenterpriselicense.hpe.com/cwp-ui/free-software/>

HPE OneView Advanced ライセンスに含まれるその他の製品

【HPE OneView for VMware vCenter】

OneView for VMware vCenter は、ProLiant サーバーおよびストレージを VMware vCenter Server にて一元管理する製品です。OneView Advanced ライセンスを購入すると、OneView for VMware vCenter を無償でダウンロードしてご利用いただけます。また、VMware vSphere with Operation Management (vSOM) パッケージに含まれる性能分析ツール VMware vRealize Operations (vROps) Standard エディションでは、3rd Party 連携機能はありませんが、OneView との連携は特別に利用可能となっています。

- * OneView for VMware vCenter の詳細については、下記 Web サイトにて、Insight Management の各ソフトウェアを指定して、ユーザーガイドを参照ください。 <http://h17007.www1.hpe.com/us/en/enterprise/servers/solutions/info-library/index.aspx>

【スタートアップ サービス】

製品番号	製品名	税抜価格	備考
U1V78E	スタートアップ ソフトウェアインストール 標準時間 OneView 用	200,000 円	サービス対象: OneView サービス内容: ・ OneView インストール ・ 製品動作確認、起動停止等の基本操作説明など

- * インストールする OneView アプライアンス 仮想マシン 1 台に対して、本サービス 1 つ必要です。
- * サービス対象となる OneView アプライアンス 仮想マシン動作環境および登録対象の管理対象機器情報詳細は、下記 Web サイトにある OneView Support Matrix を参照ください。 <https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE ProLiant サーバーOS

Windows Server OS

【概要】

HPE ProLiant サーバーは Microsoft での Windows Server プラットフォームの開発用のサーバーとして採用されていた経緯もあり、HPE ProLiant サーバーと Microsoft Windows Server OS との親和性あるコンビネーションが、高パフォーマンスと信頼性を提供します。Microsoft の Windows Server OS は、ビジネスをしっかりと保護するセキュリティを備え、IT の効率性と生産性の向上を寄与し、クラウド環境にも対応した IT ソリューションを提供します。Windows Server 2022 / 2025 は、オンプレミスな環境と Azure をつなぐオペレーティング システムです。セキュリティ層を追加する一方で、お使いのアプリケーションやインフラを最新化するのに役立ちます。

Windows Server 2022 / 2025 についての詳細情報は、以下の Microsoft の Web サイトを参照ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows-server>

また、Microsoft では、以前のバージョンの Windows Server へ Windows Server 2022 / 2025 をダウングレードする権利を認めています。ダウングレードについての詳細およびダウングレード メディアの入手については、ダウングレードの項を参照ください。

HPE から提供するメリット

HPE ProLiant サーバーと Microsoft Windows Server OS の組み合わせでは、OS の購入やインストール作業に多くの時間・リソースを割くことなく、簡単なセットアップだけで使用を開始することができます。

メリット 1	サポート	・購入から 90 日間のソフトウェア無償保証が付いています。 サーバーも OS も HPE のコールセンターから技術とサポートが受けられます。 ・サーバーとライセンスの一元管理が可能です。
メリット 2	時間・手間の削減	・ProLiant サーバーと一緒にワンストップ ショッピングを実現し、別々に納期を調整する手間が削減されます。 ・HPE ProLiant Gen8 サーバー以降では、標準装備の iLO Management Engine 内の「Intelligent Provisioning」(一部の機種を除く)により、迅速で簡単なセットアップができます。*1
メリット 3	信頼性	・ProLiant は Windows Server の開発機として採用されており、その親和性が抜群です。
メリット 4	価格	・一般的なパッケージ版と比較して、大きな価格メリットが得られます。

*1: アクティベーションが必須となります。

【機能】

Windows Server 2022 / 2025 Essentials / Standard / Datacenter では仮想化ソフトウェア Hyper-V が標準で搭載されています。Hyper-V は、堅牢でスケーラブルなハイパーバイザー ベースの仮想化プラットフォームを提供し、企業における仮想サーバー ワークロードのプロビジョニングと管理を実現します。Hyper-V テクノロジーの詳細は、以下の Microsoft の Web サイトを参照してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/virtualization/hyper-v/hyper-v-overview>

また、Standard と Datacenter の両エディション共に、フェイル オーバー クラスタリングなどの高可用性機能を搭載しております。

サポートするプロセッサ数、メモリ容量も同じで、両者の差異は、仮想ゲスト OS、または Hyper-V コンテナの合計数の違い (Datacenter エディションは無制限、Standard エディションは搭載コア数ライセンスあたり 2 インスタンスまで)、一部のストレージ機能、一部のネットワーク機能、一部のセキュリティ機能となります。

Windows Server 2022 / 2025 の新機能については、以下の Microsoft の Web サイトを参照してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/get-started/whats-new-in-windows-server-2022>

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/get-started/whats-new-windows-server-2025>

Windows Server 2022 / 2025 エディション概要

あらゆる規模のビジネスを前進させるエンタープライズ クラスのテクノロジー

Essentials エディション	Standard エディション	Datacenter エディション
コスト重視 小規模企業向け	物理環境または 小規模な仮想環境向け	高度に仮想化された データセンターおよび クラウド環境向け
25 ユーザー / 50 デバイス サーバーCAL は不要	上限なし、CAL に依存	上限なし、CAL に依存
物理または仮想 1 台*1	VM 2 個*2	VM 数 無制限
ルートドメインが必要	Hyper-V コンテナ 2 個*2	Hyper-V コンテナ、無制限
	Windows Server コンテナ無制限	
	Storage Replica (機能限定)	付属ストレージ機能： Storage Replica、 Storage Space Direct
		Software Defined Networking
		シールド仮想マシン と ホスト ガーディアン サービス

*1: 物理 1 台または仮想+Hyper-V 1 台

*2: Windows Server 2022 / 2025 Standard エディションでは、搭載コア数ライセンスあたり、仮想マシンまたは Hyper-V コンテナを合計 2 個まで利用可能

【製品】

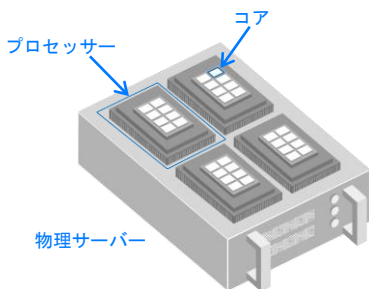
現在、HPE から提供している Windows Server 2022 / 2025 ファミリーの各エディションは下記の通りです。
HPE からの提供製品型番などの詳細については次頁以降を参照してください。

製品	ベース ライセンス製品の CPU/コア対応数*3	OS 製品に含まれる CAL 数	仮想環境上での搭載コア数 ライセンスあたりの稼働数	提供形態
Windows Server 2022 / 2025 Datacenter*1	2P / 16C	0*4	無制限	販売店にてバンドル/ HPE 工場にてバンドル
Windows Server 2022 / 2025 Standard*1	2P / 16C	0*4	2 インスタンス*5	販売店にてバンドル/ HPE 工場にてバンドル/ HPE 工場にて プリインストール
Windows Server 2022 / 2025 Essentials*2	1P / 10C 1 ソケット サーバー限定	—	1 ゲスト OS*2	

- * 1 : Windows Server 2022 / 2025 Datacenter エディションと Windows Server 2022 / 2025 Standard エディションは、サポートするプロセッサ数、メモリ容量も同じで、両者の差異は、仮想ゲスト OS、または Hyper-V コンテナの合計数の違い (Datacenter エディションは無制限、Standard エディションは搭載コア数ライセンスあたり 2 インスタンスまで)、一部のストレージ機能、一部のネットワーク機能、一部のセキュリティ機能となります。
- * 2 : Windows Server 2022 / 2025 Essentials エディションは、下記の制限があります。
 - ・ Windows Server 2022 / 2025 Essentials エディションを 1 ゲスト OS のみ動作させることができる Hyper-V のハイパーバイザーとして動作可能
 - ・ 1.4GHz 以上の x64 プロセッサ
 - ・ 1 ソケット サーバー限定、最大 10 コア
 - ・ 128GB のメモリ上限
 - ・ インストールには最小で 160GB のディスク領域が必要
 - ・ 25 ユーザーアカウントおよび 50 デバイスまでサポートされます。
 - ・ サポートされているサーバーはライセンスの項を参照ください。
- * 3 : Windows Server 2022 / 2025 Datacenter および Standard エディションは**コア ライセンス**となります。**搭載する CPU/コア数に合わせて、ベース製品の 16 コア ライセンス製品にコア追加ライセンス製品を加えて、サーバーに搭載するすべての物理コアに搭載コア数ライセンスが必要となります**のでご注意ください。
Windows Server 2022 / 2025 Essentials エディションはサーバー ライセンスとなります。
- * 4 : Windows Server 2022 / 2025 Datacenter および Standard エディションには、CAL が含まれません。別途購入ください。
- * 5 : Windows Server 2022 / 2025 Standard エディションを仮想環境で使用する場合、搭載する CPU に応じた搭載コア数ライセンスあたり、2 仮想インスタンス (ゲスト OS、Windows コンテナまたは Hyper-V コンテナ) となります。
例) 物理 2P / 16C 搭載で、2 ゲストの場合は 16 コア ライセンス、4 ゲストの場合は 32 コア分のライセンスが必要です。
サーバー 2 台に Standard を 2 つ所持している場合、2 台合計で 4 ゲスト OS の使用が可能とはなりません。それぞれのサーバーにおいて最大 2 ゲスト OS ずつの使用となります。(ゲスト OS は、ライセンスを所持する物理 OS を超えて移行することはできません。)
サーバー 1 台において、3 ゲスト OS (インスタンス) 以上使用したい場合は、Standard で 2 ゲスト OS (インスタンス) 分をさらに追加で購入するか、ゲスト OS (インスタンス) 数の制限がない Datacenter エディションを購入してください。
- * Windows Server 2022 / 2025 の詳細情報は、以下の Microsoft の Web サイトを参照ください。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows-server>
- * ライセンス体系の詳細については、Microsoft の Web サイトを参照ください。 <https://www.microsoft.com/ja-jp/windows-server/pricing>

Windows Server 2022 / 2025 ライセンス概要

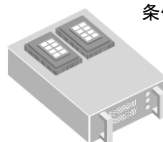
物理コアに基づくライセンス体系



すべての物理コアにコア ライセンスが必要



条件 1: プロセッサ毎に
最低 8 コア必要



条件 2: 物理サーバー毎に
最低 16 コア必要

必要な搭載コア数ライセンス対応表

		コア数/プロセッサ									
		4 コア	6 コア	8 コア	10 コア	12 コア	14 コア	16 コア	18 コア	22 コア	24 コア
搭載する プロセッサ (CPU/サーバー)	1 CPU	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	18 コア Lic	22 コア Lic	24 コア Lic
	2 CPU	16 コア Lic	16 コア Lic	16 コア Lic	20 コア Lic	24 コア Lic	28 コア Lic	32 コア Lic	36 コア Lic	44 コア Lic	48 コア Lic
	4 CPU	32 コア Lic	32 コア Lic	32 コア Lic	40 コア Lic	48 コア Lic	56 コア Lic	64 コア Lic	72 コア Lic	88 コア Lic	96 コア Lic

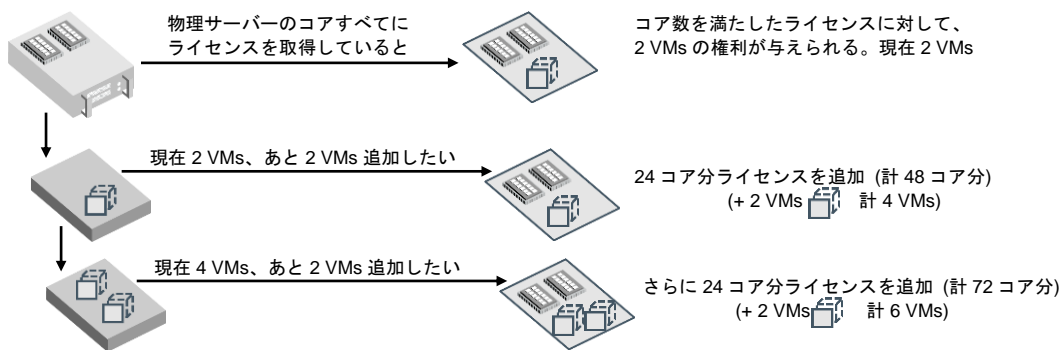
Lic: ライセンス

* Standard エディションの仮想環境では、この表のライセンス数で 2 仮想インスタンスまでとなります。

仮想環境用ライセンスの構成ルール

※Datacenter エディションは無制限 VM。Standard エディションは、搭載コア数ライセンスあたり 2 インスタンス

Standard エディション、2 プロセッサ、合計 24 コアのサーバーの場合



2 プロセッサ、合計 24 コアのサーバーの場合
6 VMs なら合計 72 コア分、8 VMs なら 96 コア分のライセンス取得が必要
(搭載コア数ライセンスを単位とし、その単位で 2 VMs ずつ増やしていく)

<HPE OEM 版 Windows Server OS>

リテール パッケージ版と比較して低価格で OS を購入できます。(リテール パッケージ版同様に、90 日間のソフトウェア無償保証付き)
 HPE OEM 版 Windows Server OS についても、仮想化環境間でインスタンスを移行することが可能です。ただし、移行先サーバーにおいて、仮想環境上での最大稼働数を超えて実行することはできません。
 なお、HPE OEM 版 Windows Server 2022 / 2025 のライセンス製品は、HPE から同時購入の ProLiant サーバーに限り使用できるものです。
 また、Datacenter エディションのコア追加ライセンス製品も同様に、ProLiant サーバーと同時購入時のみ提供が可能な製品です。
 購入後、それ以外のサーバーには利用できません。また、既存システムへのプロセッサ追加などコア ライセンスの後追い単独購入はできません。
 Standard エディションのコア追加ライセンス製品は、サーバーと同時購入以外に、別途単品購入も可能です。また、再割当権も含まれています。
 再割当権付きライセンスは、90 日間のライセンス移動不可期間を経過後に、他のサーバーに割当変更が可能です。

また、日本ヒューレット・パカード オンライン ストア HPE DirectPlus においては、ProLiant サーバーのカスタマイズ オプションとして、プリインストールおよびバンドルという二通りの形態で Windows Server OS を提供しています。詳細は下記 Web サイトを参照してください。
http://h50146.www5.hpe.com/directplus_ent/

ROK 製品 (Reseller Option Kit) :

HPE からの直接購入ではなく、販売代理店で取り扱われる HPE OEM 版 Windows Server OS である、「Windows Server 2022 / 2025 ROK」には、以下のメリットがあります。

- ・ HPE ProLiant のオプション製品として、単体キットゆえの自由な組み合わせが可能です。
- ・ HPE ProLiant、HPE Apollo System、HPE Cray System、HPE Synergy 製品とも組み合わせが可能です。

Windows Server 2022 ROK 製品

Datacenter / Standard エディション ベース ライセンス*1		
製品番号	製品名	備考
P46123-371	Windows Server 2022 Datacenter 16 コアライセンス ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,3
P46128-291	Windows Server 2022 Datacenter 16 コアライセンス 再割当権付き ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,3 ・ 再割当権付き (ただし、90 日間はライセンス移動不可)*5
P46171-371	Windows Server 2022 Standard 16 コアライセンス ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,2,3
Datacenter / Standard エディション コア追加 ライセンス*1		
P46212-B21	Windows Server 2022 Datacenter 16 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、16 コア分*1,3
P46213-B21	Windows Server 2022 Datacenter 4 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、4 コア分*1,3
P46214-B21	Windows Server 2022 Datacenter 2 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、2 コア分*1,3
P46195-B21	Windows Server 2022 Standard 16 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Standard エディションの コア追加用ライセンス、16 コア分*1,2,4,5
P46196-B21	Windows Server 2022 Standard 4 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Standard エディションの コア追加用ライセンス、4 コア分*1,2,4,5
P46199-B21	Windows Server 2022 Standard 2 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2022 Standard エディションの コア追加用ライセンス、2 コア分*1,2,4,5
Essentials エディション サーバー ライセンス		
P46172-371	Windows Server 2022 Essentials 10 コアライセンス ROK*6	・ 1P かつ 10C までのサーバー ライセンス*3 ・ 1 ソケット サーバー限定

- *1: サーバーに搭載した CPU の合計コア数分のコア ライセンス (搭載コア数ライセンス) が最低必要です。
 16 コア ベース製品+コア追加ライセンスで、搭載コア数ライセンス分を購入ください。
- *2: Standard エディションで仮想化環境を使用する場合、**搭載コア数ライセンス毎に 2 仮想インスタンス** (VM または Hyper-V コンテナ) となります。
 仮想インスタンスの数により、搭載コア数ライセンス単位で、コア追加ライセンスを購入ください。
- *3: サーバーと同時購入が必要 *4: サーバーと別途単品購入が可能
- *5: ライセンスの再割当が可能 (90 日間のライセンス移動不可期間を経過後に、他のサーバーに割当変更が可能)
- *6: Windows Server 2022 Essentials エディションは、下記の制限があります。
- ・ Windows Server 2022 Essentials エディションを 1 ゲスト OS のみ動作させることができる Hyper-V のハイパーバイザーとして動作可能
 - ・ x64 1.4GHz 以上のプロセッサ(最大 1P かつ 10C まで) ・ 1 ソケット サーバー限定、最大 10 コア ・ 128GB のメモリ上限
 - ・ インストールには、最小で 160GB のディスク領域が必要
 - ・ 25 ユーザーアカウントおよび 50 デバイスまでサポートされます。
 - ・ サポートされているサーバーは以下のとおりです。
 Windows Server 2022 Essentials: ProLiant DL325 Gen10、DL20 / DL325 / DL345 Gen10 Plus、DL325 Gen10 Plus v2、DL20 / DL145 / DL320 Gen11、ML30 / ML110 Gen10、MicroServer Gen10 Plus / Gen10 Plus v2 / Gen11、ML30 Gen10 Plus、ML30 / ML110 Gen11 サーバー
 詳細は右記のサイトを参照してください。 <https://www.hpe.com/info/ossupport>
- * 価格については、問い合わせください。
- * ベース ライセンス製品およびサーバー ライセンス製品に、そのエディションのソフトウェア メディア キットとキーが含まれます。
- * Windows Server 2019 / 2016 ダウングレード キットは、別型番での別売となります。
- * OEM 版 Windows Server OS ライセンス製品に同梱の COA ラベルを ProLiant サーバーに貼付けして納品します。
 ただし、Datacenter 再割当権付き ROK ライセンス製品の場合の COA ラベルは、ライセンス証書と共に納品されます。
 コア追加ライセンス製品の場合、ライセンス証書が納品されます。
- * アクティベーションが必要となります。
- * 仮想化環境間のインスタンス移行が可能です。(ただし、移行先サーバーの仮想環境上での最大稼働数を超えないこと)

◆上記 HPE OEM 版 Windows Server 2022 OS ライセンス製品には、リテール パッケージ版同様に 90 日間のソフトウェア無償保証が付き、インストレーションに関する電話サポートのみ含まれます。有償のテクニカル サポート製品 (Tech Care サポート サービス) については、[OS製品のソフトウェアテクニカル サポート](#)の項目の[Windows Server 2022用ソフトウェアテクニカル サポート](#)を参照ください。

Windows Server 2025 ROK 製品

Datacenter / Standard エディション ベース ライセンス*1		
製品番号	製品名	備考
P77101-291	Windows Server 2025 Datacenter 16 コアライセンス ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,3
P77102-291	Windows Server 2025 Datacenter 16 コアライセンス 再割当権付き ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,3 ・ 再割当権付き (ただし、90 日間はライセンス移動不可)*5
P77100-291	Windows Server 2025 Standard 16 コアライセンス ROK	・ 16 コア ベース ライセンス*1,2,3
Datacenter / Standard エディション コア追加 ライセンス*1		
P77107-B21	Windows Server 2025 Datacenter 16 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、16 コア分*1,3
P77108-B21	Windows Server 2025 Datacenter 4 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、4 コア分*1,3
P77109-B21	Windows Server 2025 Datacenter 2 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Datacenter エディションの コア追加用ライセンス、2 コア分*1,3
P77104-B21	Windows Server 2025 Standard 16 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Standard エディションの コア追加用ライセンス、16 コア分*1,2,4,5
P77105-B21	Windows Server 2025 Standard 4 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Standard エディションの コア追加用ライセンス、4 コア分*1,2,4,5
P77106-B21	Windows Server 2025 Standard 2 コア追加ライセンス	・ Windows Server 2025 Standard エディションの コア追加用ライセンス、2 コア分*1,2,4,5
Essentials エディション サーバー ライセンス		
P77103-291	Windows Server 2025 Essentials 10 コアライセンス ROK*6	・ 1P かつ 10C までのサーバー ライセンス*3 ・ 1 ソケット サーバー限定

- * 1 : サーバーに搭載した CPU の合計コア数分のコア ライセンス (搭載コア数ライセンス) が最低必要です。
16 コア ベース製品+コア追加ライセンスで、搭載コア数ライセンス分を購入ください。
- * 2 : Standard エディションで仮想化環境を使用する場合、**搭載コア数ライセンス毎に 2 仮想インスタンス** (VM または Hyper-V コンテナ) となります。
仮想インスタンスの数により、搭載コア数ライセンス単位で、コア追加ライセンスを購入ください。
- * 3 : サーバーと同時購入が必要 * 4 : サーバーと別途単品購入が可能
- * 5 : ライセンスの再割当が可能 (90 日間のライセンス移動不可期間を経過後に、他のサーバーに割当変更が可能)
- * 6 : Windows Server 2025 Essentials エディションは、下記の制限があります。
 - ・ Windows Server 2025 Essentials エディションを 1 ゲスト OS のみ動作させることができる Hyper-V のハイパーバイザーとして動作可能
 - ・ x64 1.4GHz 以上のプロセッサ(最大 1P かつ 10C まで) ・ 1 ソケット サーバー限定、最大 10 コア ・ 128GB のメモリ上限
 - ・ インストールには、最小で 160GB のディスク領域が必要
 - ・ 25 ユーザーアカウントおよび 50 デバイスまでサポートされます。
 - ・ サポートされているサーバーは以下のとおりです。
Windows Server 2025 Essentials : ProLiant DL20 / DL325 / DL345 Gen10 Plus、DL325 Gen10 Plus v2、DL20 / DL145 / DL320 Gen11、ML30 / ML110 Gen10、MicroServer Gen10 Plus / Gen10 Plus v2 / Gen11、ML30 Gen10 Plus、ML30 / ML110 Gen11 サーバー
詳細は右記のサイトを参照してください。 <https://www.hpe.com/info/ossupport>
- * 価格については、問い合わせください。
- * ベース ライセンス製品およびサーバー ライセンス製品に、そのエディションのソフトウェア メディア キットとキーが含まれます。
- * Windows Server 2022 / 2019 ダウングレード キットは、別型番での別売となります。
- * OEM 版 Windows Server OS ライセンス製品に同梱の COA ラベルを ProLiant サーバーに貼付けして納品します。
ただし、Datacenter 再割当権付き ROK ライセンス製品の場合の COA ラベルは、ライセンス証書と共に納品されます。
コア追加ライセンス製品の場合、ライセンス証書が納品されます。
- * アクティベーションが必要となります。
- * 仮想化環境間のインスタンス移行が可能です。(ただし、移行先サーバーの仮想環境上での最大稼働数を超えないこと)

◆上記 HPE OEM 版 Windows Server 2025 OS ライセンス製品には、リテール パッケージ版同様に 90 日間のソフトウェア無償保証が付き、インストールに関する電話サポートのみ含まれます。有償のテクニカル サポート製品 (Tech Care サポート サービス) については、[OS製品のソフトウェアテクニカル サポート](#)の項目の[Windows Server 2025用ソフトウェアテクニカル サポート](#)を参照ください。

Windows Server 2022 / 2025 Datacenter および Standard エディション用 CAL / RDS CAL 製品

<Windows Server 2022 / 2025 追加 CAL (クライアント アクセス ライセンス)>

Windows Server 2022 / 2025 OS ライセンスには、CAL が含まれません。CAL がないと OS ライセンスは利用できませんので、必ず CAL を購入ください。
 Windows Server 2022 のユーザー CAL とデバイス CAL は、Windows Server 2019 / 2016 / 2012 のバージョンにも適用可能です。
 (Windows Server 2019 / 2016 CAL では Windows Server 2022 へのアクセスはできません。)
 Windows Server 2022 の上で稼働している Windows Server 2019 以前の仮想サーバーへのアクセスには Windows Server 2022 CAL が必要です。
 Windows Server 2025 のユーザー CAL とデバイス CAL は、Windows Server 2022 / 2019 / 2016 のバージョンにも適用可能です。
 (Windows Server 2022 / 2019 / 2016 CAL では Windows Server 2025 へのアクセスはできません。)
 Windows Server 2025 の上で稼働している Windows Server 2022 以前の仮想サーバーへのアクセスには Windows Server 2025 CAL が必要です。
 HPE 提供の CAL は単体購入頂けます。サーバーや OS ライセンスとの同時購入は必須ではありません。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
P46191-B21	Windows Server 2022 CAL 1 ユーザー	9,100 円	・ Windows Server 2022 用 1 ユーザー CAL
P46215-B21	Windows Server 2022 CAL 5 ユーザー	44,800 円	・ Windows Server 2022 用 5 ユーザー CAL
P46217-B21	Windows Server 2022 CAL 10 ユーザー	89,000 円	・ Windows Server 2022 用 10 ユーザー CAL
P46219-B21	Windows Server 2022 CAL 50 ユーザー	444,700 円	・ Windows Server 2022 用 50 ユーザー CAL
P46194-B21	Windows Server 2022 CAL 1 デバイス	7,300 円	・ Windows Server 2022 用 1 デバイス CAL
P46216-B21	Windows Server 2022 CAL 5 デバイス	35,700 円	・ Windows Server 2022 用 5 デバイス CAL
P46218-B21	Windows Server 2022 CAL 10 デバイス	70,800 円	・ Windows Server 2022 用 10 デバイス CAL
P46220-B21	Windows Server 2022 CAL 50 デバイス	354,000 円	・ Windows Server 2022 用 50 デバイス CAL
P77110-B21	Windows Server 2025 CAL 1 ユーザー	13,000 円	・ Windows Server 2025 用 1 ユーザー CAL
P77112-B21	Windows Server 2025 CAL 5 ユーザー	54,000 円	・ Windows Server 2025 用 5 ユーザー CAL
P77114-B21	Windows Server 2025 CAL 10 ユーザー	107,000 円	・ Windows Server 2025 用 10 ユーザー CAL
P77116-B21	Windows Server 2025 CAL 50 ユーザー	526,000 円	・ Windows Server 2025 用 50 ユーザー CAL
P77111-B21	Windows Server 2025 CAL 1 デバイス	9,000 円	・ Windows Server 2025 用 1 デバイス CAL
P77113-B21	Windows Server 2025 CAL 5 デバイス	38,000 円	・ Windows Server 2025 用 5 デバイス CAL
P77115-B21	Windows Server 2025 CAL 10 デバイス	75,000 円	・ Windows Server 2025 用 10 デバイス CAL
P77117-B21	Windows Server 2025 CAL 50 デバイス	366,000 円	・ Windows Server 2025 用 50 デバイス CAL

<Windows Server 2022 / 2025 リモート デスクトップ サービス (RDS) 用 CAL>

Windows Server 2022 / 2025 のリモート デスクトップ サービス (RDS) を実行するサーバーにアクセスするには、ユーザーまたはデバイスともに通常の Windows Server 2022 / 2025 CAL と Windows Server 2022 / 2025 RDS CAL が必要です。
 以前のバージョンの Windows Server RDS CAL では Windows Server 2022 / 2025 の RDS へのアクセスはできません。
 Windows Server 2022 の RDS 用としては Windows Server 2022 RDS CAL を、Windows Server 2025 の RDS 用としては Windows Server 2025 RDS CAL を購入ください。
 Windows Server 2022 / 2025 RDS CAL 製品は以前のバージョンの Windows Server の RDS CAL としても利用可能ですが、以前のバージョンの Windows 用 RDS CAL にダウングレードすることが必要です。
 下記 URL を参照の上、Microsoft クリアリングハウスに電話しダウングレード用プロダクト キーの発行を得てください。
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc754677\(v=ws.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc754677(v=ws.10).aspx)
 HPE 提供の CAL は単体購入頂けます。サーバーや OS ライセンスとの同時購入は必須ではありません。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
P46221-B21	Windows Server 2022 RDS CAL 5 ユーザー	154,300 円	・ Windows Server 2022 用 5 ユーザー Remote Desktop Service CAL
P46222-B21	Windows Server 2022 RDS CAL 5 デバイス	145,200 円	・ Windows Server 2022 用 5 デバイス Remote Desktop Service CAL
P77118-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 1 ユーザー	47,000 円	・ Windows Server 2025 用 1 ユーザー Remote Desktop Service CAL
P77120-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 5 ユーザー	229,000 円	・ Windows Server 2025 用 5 ユーザー Remote Desktop Service CAL
P77122-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 50 ユーザー	2,269,000 円	・ Windows Server 2025 用 50 ユーザー Remote Desktop Service CAL
P77119-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 1 デバイス	34,000 円	・ Windows Server 2025 用 1 デバイス Remote Desktop Service CAL
P77121-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 5 デバイス	163,000 円	・ Windows Server 2025 用 5 デバイス Remote Desktop Service CAL
P77123-B21	Windows Server 2025 RDS CAL 50 デバイス	1,617,000 円	・ Windows Server 2025 用 50 デバイス Remote Desktop Service CAL

* 上記製品に OS は含まれません。リモート デスクトップ サービス (RDS) 用 CAL のみとなります。

【ダウングレード】

Microsoft では、以前のバージョンの Windows Server へ Windows Server 2022 / 2025 をダウングレードする権利を認めています。
HPE OEM 版 Windows Server 2022 / 2025 のライセンスは、旧バージョンへのダウングレードが可能です。

ダウングレードを行なうには、Windows Server 2022 / 2025 のライセンス条件 (搭載コア数ライセンス+仮想インスタンスに応じたライセンス) を満たしていることが必要です。また、ターゲット OS のメディアと有効なプロダクト キーを有する場合に限り、ダウングレードが可能です。

HPE OEM 版 Windows Server 2022 のベース ライセンス製品を Windows Server 2016 / 2019 へダウングレードする場合、HPE OEM 版 Windows Server 2025 のベース ライセンス製品を Windows Server 2019 / 2022 へダウングレードする場合、HPE から Windows Server 2022 / 2025 ROK ベースライセンスとの同時購入で、下記の Windows Server 2016 / 2019 / 2022 へのダウングレード メディア日本語版を提供します。

(2 つ前までのバージョンのダウングレード メディアのみ同時購入可能)

OEM 版 Windows Server のメディアにはプロダクト キーが標準で付属しています。また、HPE では DirectPlus からダウングレード メディアの提供を行っています。(DirectPlus で Windows Server ライセンスとの同時購入が必須。DirectPlus にて提供のダウングレード メディアには、その OS 用のプロダクト キーが標準で付属しています。)

製品番号	製品名	備考
P11084-291	Windows Server 2016 Standard ダウングレード メディア キット ROK	以下からダウングレードおよびダウンエディションが可能 ・ Windows Server 2019 / 2022 Standard ・ Windows Server 2019 / 2022 Datacenter
P11085-291	Windows Server 2016 Datacenter ダウングレード メディア キット ROK	以下からダウングレードが可能 ・ Windows Server 2019 / 2022 Datacenter
P45863-291	Windows Server 2019 Standard ダウングレードメディアキット ROK	以下からダウングレードおよびダウンエディションが可能 ・ Windows Server 2022 / 2025 Standard ・ Windows Server 2022 / 2025 Datacenter
P45880-291	Windows Server 2019 Datacenter ダウングレードメディアキット ROK	以下からダウングレードが可能 ・ Windows Server 2022 / 2025 Datacenter
P77126-291	Windows Server 2022 Standard ダウングレードメディアキット ROK	以下からダウングレードおよびダウンエディションが可能 ・ Windows Server 2025 Standard ・ Windows Server 2025 Datacenter
P77127-291	Windows Server 2022 Datacenter ダウングレードメディアキット ROK	以下からダウングレードが可能 ・ Windows Server 2025 Datacenter

* ダウングレードの際は、利用 OS のプロダクト キーでアクティベーションが必要です。

ダウングレード時のアクティベーションにおいては、ダウングレード メディアのインストール後、すみやかにアクティベーションを行う必要があります。

* 上記製品の価格については、お問い合わせください。

* 上記製品は、HPE 販売店よりサーバーおよび OS ライセンス (ROK) との同時購入が必須です。

* 本製品にライセンスは含まれません。

* 有効な Windows Server 2019 / 2022 / 2025 ライセンスが適用されたサーバーでのみ、利用いただけます。

【スタートアップ サービス】 * プリインストールは該当いたしません。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
Windows Server 2022 / 2025 用 HPE スタートアップ OS インストール サービスは、 ProLiant サーバーのスタートアップ サービスで対応されます。ProLiant サーバーのシステム構成図を参照してください。			

SUSE Linux Enterprise Server

【概要】

SUSE Linux Enterprise Server は、Linux カーネルに対応したエンタープライズ向け Linux OS です。大規模な IT システム構築にも対応できる高い可用性と拡張性を備えており、多数のサーバーを連携させるグリッド コンピューティングなど、大量計算を行うシステムに適しています。HPE では、Linux OS ポートフォリオを強化してお客様に幅広い選択肢を提供し、また OS 単体での販売も行うことで ProLiant を既に使用しているお客様の Linux システム導入をサポートします。

SUSE Linux Enterprise Server 製品は、以下の商用デプロイメントに必要な機能を実現する共通コア コンポーネントを中心に構築されています。

- ・ BEA、Oracle、Symantec Veritas など広範囲の ISV のアプリケーションをサポート
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 からは、Microsoft Windows とシームレスに連携する相互運用性 (クロス プラットフォーム仮想化、システム管理、アイデンティティ/ディレクトリ) を提供
- ・ ProLiant サーバーによる業界ベンチマークで卓越した性能、拡張性、および可用性を実現
- ・ HPE から提供される SUSE Linux Enterprise Server OS は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間のサブスクリプション サービス (バージョン アップデート権および SUSE の Network へのアクセス権を含む) による卓越した安定性と、優れた利便性、柔軟性、選択肢を提供

* SUSE Linux Enterprise Server についての詳細は、下記 Web サイトを参照してください。

<https://www.suse.com/ja-jp/products/server/>

HPE から提供する主なメリット

- ・ HPE によるテストおよび認定済みの Linux サーバー プラットフォームのコンポーネントや情報が入手可能
- ・ 重大な問題にも対応できる SUSE へのレベル 3 エスカレーション サポートを含むハードウェア/OS サポートを利用可能
- ・ Linux の性能、信頼性、および柔軟性を非常に低いコストで提供

【製品】

<SUSE Linux Enterprise Server>

SUSE による SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプション提供形態にそって、HPE の OEM 製品を販売いたします。

サブスクリプション形態

サブスクリプション・ラインアップは、以下の条件に応じ選択頂きます。

- ・ 物理環境で利用か、仮想化環境で利用か (1-2 ソケット or 1-2VM 製品、1-2 ソケット製品、1VM 製品)
 - 物理環境で利用の場合、2 ソケット毎の CPU 数のサーバー単位によりサブスクリプションを選択 (例: 3CPU/4CPU の物理サーバーでは、2 つのサブスクリプションとなります。)
 - 仮想化環境で利用の場合、稼働させるゲスト OS (VM) 毎 (1-2VM 製品は 2VM 単位、1VM 製品は 1VM 単位) にサブスクリプションを選択
- ・ ハイパーバイザーとして SUSE Linux Enterprise Server の Xen または KVM と、その上で稼働させるゲスト OS 数が無制限のサブスクリプション (1-2 ソケット無制限 VM 製品)
- ・ サポート期間 (1 年、3 年、5 年 (SAP 用のみ))

<SUSE Linux Enterprise Server for SAP>

SUSE Linux Enterprise Server for SAP は全ての SAP アプリケーションに最適化されており、CPU とメモリの負荷が高い状態でも常に高いアップタイムとパフォーマンスを実現するほか、SAP クラスタリング ソリューションを構築できる高可用性コンポーネントである SUSE Linux Enterprise High Availability Extension が組み込まれており、また、SAP アプリケーション対応のエンドツーエンドの自動インストール ワークフローも実装されています。

<SUSE Linux Enterprise High Availability Extension>

高可用性クラスタリングを実現する製品で、物理環境と仮想環境に導入可能な製品です。ミッション クリティカルなワークロードのサービスの可用性を最大化することができます。本製品は、SUSE Linux Enterprise Server の機能を拡張するための製品です。サポート レベルは元となる SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションのサポート レベルに準じます。

サブスクリプションのルール

- ・ 物理環境で利用するのか、仮想化環境で利用するのかを選択してください。
 - 物理環境で利用する場合、2CPU 毎 (1 ソケットペア) にサーバー単位で選択してください。
 - 仮想化環境で利用場合は、稼働させるゲスト OS (VM) 毎 (1-2VM 製品は 2VM 単位、1VM 製品は 1VM 単位) に購入してください。
- ・ ソケット数は実装されている数をカウントします。
 - 例) 4 ソケット サーバーに 2CPU が搭載 → 1-2 ソケット用サブスクリプションの利用が可能
 - ・ 上記のサーバーに後から 2CPU を追加 → 1-2 ソケット用サブスクリプションの追加購入が必要 (サブスクリプションが合計 2 つ)

仮想化における注意点

- ・ サブスクリプションを仮想化環境にて利用する場合、1-2 ソケット or 1-2VM 製品を物理サーバーのハイパーバイザーとして利用し、その上で仮想環境を構築することはできませんのでご注意ください。1-2 ソケット or 1-2VM 製品には、ハイパーバイザーは含まれておりません。Xen や KVM も含めて利用する場合には無制限 VM 製品をご利用ください。つまり、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Citrix XenServer などのサードパーティ製ハイパーバイザーを使用する場合には、ゲスト OS (VM) 数に応じて、1-2 ソケット or 1-2VM 製品は 2VM 単位で、1 製品は 1VM 単位で、複数ご購入ください。
- ・ SUSE Linux Enterprise Server に含まれる Xen または KVM ハイパーバイザーを使用する場合は、1-2 ソケット無制限 VM 製品で、2 ソケット単位で積み上げ式で利用ください。
 - 例) 2 ソケット サーバーに 2CPU 搭載し、SUSE 以外のサードパーティ製ハイパーバイザー (ex. VMware) を動作させ、
 - SLES の VM を 2VM までの場合 → 1-2 ソケット or 1-2VM 製品×1 (総ソケット数×2 ≧ VM 数の場合)
 - SLES の VM を 4VM までの場合 → 1-2 ソケット or 1-2VM 製品×2 (総ソケット数×2 ≧ VM 数の場合)
 - SLES の VM を 5VM 以上の場合 → 1-2 ソケット無制限 VM 製品×1 (総ソケット数×2 < VM 数の場合)

提供製品については次頁以降を参照してください。

【製品】 つづき

SUSE Enterprise Linux Server 型番

製品番号	製品名	税抜価格	備考
1-2 ソケット or 1-2VM 用 製品			
S3R51A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 1yr 9x5 LTU	個別見積り製品 別途お問い合わせください。	<ul style="list-style-type: none"> SUSE Linux Enterprise Server 1-2 Socket or 1-2 VM サブスクリプションに、OS 管理ツールである SUSE Manager Lifecycle Management がアドオンされた製品 2 ソケット毎または 2 仮想マシン単位での購入 メディアなし(ダウンロード) *1 各製品名称中のサポート期間、サポート時間は以下 1yr : 1 年サポートバンドル 3yr : 3 年サポートバンドル 5yr : 5 年サポートバンドル 9x5 : 標準時間(9x5) サポート 24x7 : 24 時間 年中無休 サポート LTU : 物理的ライセンス証書を発行するライセンス E-LTU : E メール納品*2 (電子メール)にてライセンス証書情報を発行するライセンス
S3R51AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 1yr 9x5 E-LTU		
S3R50A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 1yr 24x7 LTU		
S3R50AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 1yr 24x7 E-LTU		
S3R53A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 3yr 9x5 LTU		
S3R53AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 3yr 9x5 E-LTU		
S3R49A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 3yr 24x7 LTU		
S3R49AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 3yr 24x7 E-LTU		
S3R54A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 5yr 9x5 LTU		
S3R54AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 5yr 9x5 E-LTU		
S3R52A	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 5yr 24x7 LTU		
S3R52AAE	SUSE Linux Enterprise Server w/SUSE Manager Lifecycle Management+ 1-2 Sockets/1-2 VM 5yr 24x7 E-LTU		
1-2 ソケット用 製品、1VM 用 製品			
S3R56AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1-2 Sockets 1-year 24x7 E-LTU	個別見積り製品 別途お問い合わせください。	<ul style="list-style-type: none"> SUSE Manager Lifecycle Management が不要の場合の物理サーバー用のサブスクリプション (メディアなし*1) 2 ソケット単位での購入 24 時間 年中無休 サポートバンドル E-LTU : E メール納品*2 ライセンス SUSE Manager Lifecycle Management が不要の場合の仮想サーバー用のサブスクリプション (メディアなし*1) 1 仮想マシン単位での購入 24 時間 年中無休 サポートバンドル E-LTU : E メール納品*2 ライセンス
S3R55AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1-2 Sockets 3-year 24x7 E-LTU		
S3R60AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1-2 Sockets 5-year 24x7 E-LTU		
S3R58AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1 Virtual Machine 1-year 24x7 E-LTU		
S3R57AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1 Virtual Machine 3-year 24x7 E-LTU		
S3R59AAE	SUSE Linux Enterprise Server 1 Virtual Machine 5-year 24x7 E-LTU		
1-2 ソケット無制限 VM 用			
R8V74A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 1 年 標準時間 サポート付)	345,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 標準時間(9x5) 1 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V74AAE	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 1 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	345,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む
R8V76A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 1 年 24x7 サポート付)	608,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 24 時間 年中無休 1 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V76AAE	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 1 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2	608,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む
R8V75A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 標準時間 サポート付)	937,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 標準時間(9x5) 3 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V75AAE	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	937,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む
R8V77A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 24x7 サポート付)	1,644,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 24 時間 年中無休 3 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V77AAE	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2	1,644,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む
R8V79A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 5 年 標準時間 サポート付)	1,559,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 標準時間(9x5) 5 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V78A	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 5 年 24x7 サポート付)	2,741,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 24 時間 年中無休 5 年サポート バンドル メディアなし(ダウンロード) *1
R8V78AAE	SUSE Linux Enterprise Server (1-2 ソケット 無制限 VM 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2	2,741,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む

* 1 : メディアの入手については、下記を参照してください。

・ Web からダウンロード : SUSE の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://download.suse.com/index.jsp>

* 2 : E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。

送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

* 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。

* 上記のライセンス製品は、SUSE のサブスクリプション、HPE カスタマーサポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。

◆ 上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。

◆ 保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。

2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

◆ 以下の製品については別途お問い合わせください。

・ HPC 向けパッケージ製品

【製品】 つづき

SAP 用 SUSE Enterprise Linux Server 型番

製品番号	製品名	税抜価格	備考
1-2 ソケット or 2VM 用			
M6K30A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット or 2VM 3 年 24x7 サポート付)	1,175,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 3 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ ハイパーバイザーは含まれていません。
M6K30AAE	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット or 1-2VM 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2	1,175,000 円	
M6K32A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット or 2VM 5 年 24x7 サポート付)	1,963,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 5 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ ハイパーバイザーは含まれていません。
M6K32AAE	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット or 1-2VM 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2	1,963,000 円	
2 ソケット無制限 VM 用			
R8V72A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 24x7 サポート付)	個別見積り 製品 別途 お問い合わせ ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 3 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ ホストマシンと仮想マシン(無制限)をカバー ・ SUSE Linux Enterprise Live Patching を含む
R8V72AAE	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット 無制限 VM 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2		
R8V73A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット 無制限 VM 5 年 24x7 サポート付)		
R8V73AAE	SUSE Linux Enterprise Server for SAP (1-2 ソケット 無制限 VM 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2		

*1: メディアは、SUSE の Web サイトにてダウンロードしてください。 <https://download.suse.com/index.jsp>

*2: E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。

送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

* 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。

* 上記のライセンス製品は、SUSE のサブスクリプション、HPE カスタマーサポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。

SUSE Enterprise Linux Server High Availability Extension 型番

製品番号	製品名	税抜価格	備考
Q5T84A	SUSE Linux Enterprise HA Extension (1-2 ソケット 1 年)	121,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 1 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ サポート レベルは元となる SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションのサポート レベルに準じる
M6K34A	SUSE Linux Enterprise HA Extension (1-2 ソケット 3 年)	328,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 3 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ サポート レベルは元となる SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションのサポート レベルに準じる
M6K34AAE	SUSE Linux Enterprise HA Extension (1-2 ソケット 3 年 E メール納品) *2	328,000 円	
Q5T85A	SUSE Linux Enterprise HA Extension (1-2 ソケット 5 年)	545,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間 年中無休 5 年サポート バンドル ・ メディアなし(ダウンロード) *1 ・ サポート レベルは元となる SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションのサポート レベルに準じる

*1: メディアの入手については、下記を参照してください。

・ Web からダウンロード: SUSE の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://download.suse.com/index.jsp>

*2: E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。

送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

* 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。

* 上記のライセンス製品は、SUSE のサブスクリプション、HPE カスタマーサポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。

◆ 上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。

◆ 保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。

2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

◆ 以下の製品については別途お問い合わせください。

・ HPC 向けパッケージ製品

【SUSE Linux Enterprise Serverのユーザー登録方法】

SUSE Linux Enterprise Server 製品に付随するサブスクリプション サービスをご利用いただくために、購入された製品にて SUSE Linux Enterprise Server のユーザー登録が必要です。

HPE から SUSE Linux Enterprise Server 製品を購入すると、製品に Entitlement Certificate (ライセンス権利付与証明書) が同梱されています。Entitlement Certificate に記載された Entitlement Order Number を使用して、30 日以内にマイライセンス ポータルで登録を完了してください。

マイライセンス ポータルで登録完了後、HPE アクティベーション キーを入手してください。

HPE アクティベーション キー取得後、SUSE サブスクリプションのアクティベーションを行ってください。

登録および登録手順については、下記 Web サイトを参照ください。

HPE SUSE サブスクリプションの登録とアクティベーション Step by step guide :

https://h50146.www5.hp.com/products/servers/document/pdf/suseguide_2016.pdf

マイライセンスポータル : <https://myenterpriselicense.hp.com/>

【スタートアップ サービス】

製品番号	製品名	税抜価格	備考
U8141E	HPE スタートアップ OS インストール 標準時間 Linux 用*1	78,000 円	サービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ Linux OS、X Window System、Service Pack for ProLiant インストール ・ Network インターフェイスへの TCP/IP ネットワーク パラメータ設定および NIC チューニング設定 ・ KVM 設定 対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ SUSE Linux Enterprise Server ・ Red Hat Enterprise Linux (サーバー ハードウェア : ProLiant)

*1 : SUSE Linux Enterprise Server の仮想化用と SAP 用は上記スタートアップ サービスの対象外となります。仮想化用と SAP 用のスタートアップについては別途お問い合わせください。

Red Hat Enterprise Linux

【概要】

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) は、高い性能と拡張性かつ高水準のセキュリティ機能を備え、企業情報システム全域で利用できるプラットフォームです。ProLiant サーバー用 RHEL は、この信頼性の高い Linux OS に、さらなる安心を提供するために、日本ヒューレット・パッカードによるソフトウェアテクニカル サポート^{*1} を併せて提供する製品です。

HPE は Red Hat とワールド ワイド レベルでのアライアンス (提携) を結ぶことにより、共にマーケティング活動や製品開発を行うほか、共同でサポート体制を構築しています。これによってサポート内容の拡充と問題の特定・解決の大幅なスピード向上を実現した、高レベルなソリューションを提供します。本 OS 製品は ProLiant サーバーの H/W と同時購入か、または本 OS を単体で購入し、既存の ProLiant サーバーにインストールすることが可能です。(他社製サーバーは不可)

既に条件を満たしている ProLiant サーバーをご使用のお客様は、本パッケージの購入により Linux システムへの移行が可能になります。

RHEL 製品の詳細については、右記の Red Hat の Web サイトを確認してください。 <http://www.jp.redhat.com/rhel/>

*1: HPE カスタマー サポートによるソフトウェア テクニカル サポート

- ・ 電話による技術支援を提供
- ・ 提供時間: 8:45~17:30 (月~金、年末年始・祝日を除く)、または 24 時間/年中無休
- ・ ソフトウェアの機能および運用に関するサポート
- ・ ソフトウェア インストレーションのサポート
- ・ 問題の特定および解決のサポート
- ・ Red Hat への技術エスカレーション

HPE から提供する主なメリット

- ・ HPE によるテストおよび認定済みの Linux サーバー プラットフォームのコンポーネントや情報を入手可能
- ・ 重大な問題にも対応できる Red Hat へのレベル 3 エスカレーション サポートを含むハードウェア/OS サポートを利用可能
- ・ UNIX の性能、信頼性、および柔軟性を非常に低いコストで提供

【製品】

サブスクリプションについて

- ・ HPE は、Red Hat が提供する RHEL の基本機能のサブスクリプションを提供します。
- ・ サブスクリプション登録には、Red Hat のエンタープライズ契約への同意が必要です。詳細は、本項末尾にあるユーザー登録方法を参照ください。
- ・ 本製品はバージョンレス パッケージです。Red Hat Network でアクティベーション コードを使用してアクティベーションすることで、サブスクリプションの契約期間中は Red Hat Network からダウンロードできる全てのバージョンを利用可能です。
- ・ Red Hat Enterprise Linux の各バージョンのサポート期間については、下記 Web サイトを参照してください。
<http://www.jp.redhat.com/security/updates/>
- ・ サブスクリプションにはメディアが添付されません。Red Hat の Web サイトにてダウンロードしてください。
Web からダウンロード: ユーザー登録およびサブスクリプションのアクティベーションを行い、OS メディア イメージをダウンロードしてください。
- ・ OEM 版では、7 種類あるアドオン オプションのうち、High-Availability アドオン、Resilient Storage アドオン、Load Balancer アドオン、Smart Management アドオンの 4 種類の製品を提供します。これら 4 種類の Red Hat アドオン製品のサブスクリプションのサポート契約期間については、本項の Red Hat アドオンの項を参照してください。なお、リテール版のアドオン製品を追加する場合は、OS 本体のサブスクリプションについてもリテール版の購入が必要です。

【製品】 つづき

サブスクリプション製品

サブスクリプション製品は、物理マシン、仮想化環境、そしてクラウド環境に対する柔軟性と幅広い選択肢を提供することでオープン ハイブリッドクラウドへの展開を支援し、容易な仮想化環境の利用を実現します。

サブスクリプションの主な特徴

- ・利用するサーバーの CPU 数やゲスト OS 数に準じたシンプルな購入が可能です。
(必要ライセンス数の割り出しには、ソケット ペア(2ソケットで1つ) の数え方がベースとなります。)
- ・サポート契約時間 24x7 の製品には、これまでアドオンで提供していた Extended Update Support (EUS) が含まれます。

製品ラインアップ

製品	製品概要	その他
2ソケット 1 ゲスト OS 製品	物理サーバー(2ソケット) 用としてのご利用に加え、その物理サーバー上の KVM に 1 ゲスト分の仮想 OS のご利用が可能。(物理 1 OS+VM 1 OS で合計 2 OS) 1ソケット サーバーでご利用の場合でも、本製品を 1つ選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタックアップ(積み上げ) 可能です。 ・本製品での 1 ゲスト OS は、本製品を充てた物理サーバー(2ソケットまで) の上に限られます。 ・仮想化ゲスト OS を追加する場合、仮想化ゲスト OS 1つ毎にサブスクリプションを追加購入してください。
2ソケット or 2 ゲスト OS 製品	物理サーバー(2ソケット) 用としてのご利用か、2ゲスト OS ^{*1} *2 としてのご利用か選択してください。1ソケット サーバーでご利用の場合でも、本製品を 1つ選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタックアップ(積み上げ) 可能です。 ・仮想化ゲスト OS を追加する場合、仮想化ゲスト OS 2つ毎にサブスクリプションを追加購入してください。
2ソケット 4 ゲスト OS 製品	物理サーバー(2ソケット) 用と 4 ゲスト OS までご利用いただけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタックアップ(積み上げ)はできません。本製品に 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品を追加することはできません。 ・ゲスト OS を複数のサーバー間で融通させて使うことはできません。 ・2ソケットサーバー毎に 1つ購入してください。 ・サポートされるハイパーバイザーは RHEL KVM です。
Virtual Datacenters 製品	仮想化環境で、ゲスト OS 数を無制限にご利用いただけます。 ^{*3}	<ul style="list-style-type: none"> ・2ソケット サーバー毎に購入してください。 ・サポートされるハイパーバイザーは KVM / RHEV / VMware / Hyper-V / Nutanix AHV です。^{*1} ・ハイパーバイザーは別途ご準備いただく必要があります。^{*3}

* 1 : 他社の Certify されているハイパーバイザーの最新情報は下記 Red Hat のサイトを確認してください。

<https://access.redhat.com/articles/973163>

* 2 : ハイパーバイザーは HPE OEM 製品である必要はありません。OEM 製品で統一した場合、切り分けなどから HPE で実施可能ですので、OEM 製品の導入を推奨します。

* 3 : Certify されているハイパーバイザー上であれば、ゲスト OS を 5 つ以上積み上げることが可能です。

* 上記製品は、HPE サーバー上での利用が前提となります。

* Red Hat から購入した場合、利用可能な Cloud Access は、現行で販売している製品同様に HPE OEM 製品では利用いただけません。

サブスクリプションの選択方法

①物理環境で利用するか、仮想化環境で利用するかを選択してください。

- ・物理環境で利用… 2CPU 毎 (1ソケット ペア) にサーバー単位で選択
 - ・仮想化環境で利用…稼働させるゲスト OS 数 2つ毎に購入する、2ソケット or 2 ゲスト OS 製品
- または、ハイパーバイザーが RHEL KVM の場合で、3,4 ゲスト OS の場合、2ソケット 4 ゲスト OS 製品

②サポート契約時間(標準時間もしくは 24x7) を選択してください。

③契約年数を選択してください。(RHEL サブスクリプションは、RHEL をお使いになる期間を満たすように購入ください。)

(例) 2ソケット 1 ゲスト OS 製品、2ソケット or 2 ゲスト OS 製品、2ソケット 4 ゲスト OS 製品での購入例

(以下については、仮想化ハイパーバイザーに RHEL の KVM を利用した場合になります。)

- ・1P サーバー×1 + ゲスト OS×1 → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×1
- ・1P サーバー×1 + 仮想化なし → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×1、もしくは RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×1 (後から 1CPU 追加しても RHEL の追加購入不要)
- ・1P サーバー×2 + 仮想化なし → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×2、もしくは RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×2
- ・2P サーバー×1 + 仮想化なし → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×1、もしくは RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×1
- ・2P サーバー×1 + ゲスト OS×1 → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×1
- ・2P サーバー×1 + ゲスト OS×2 → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×2
- ・2P サーバー×1 + ゲスト OS×3 → RHEL 2ソケット 1 ゲスト OS 製品×1 に加え、RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×1
- ・2P サーバー×1 + ゲスト OS×4 → RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×3、もしくは RHEL 2ソケット 4 ゲスト OS 製品×1
- ・4P サーバー×1 + ゲスト OS×4 → RHEL 2ソケット or 2 ゲスト OS 製品×4、もしくは RHEL 2ソケット 4 ゲスト OS 製品×2

【製品】 つづき サブスクリプション製品

製品番号	製品名	税抜価格	備考
Red Hat Enterprise Linux Server : 2 ソケット サーバー+1 ゲスト OS 用			
S4R44A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 1 ゲスト 1 年 標準時間 サポート付) *1	143,000 円	
S4R43A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 1 ゲスト 1 年 24x7 サポート付) *3	230,000 円	
Red Hat Enterprise Linux Server : 2 ソケット サーバーもしくは、2 ゲスト OS 用			
S4R40A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 標準時間 サポート付) *1	143,000 円	
G3J29AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	143,000 円	
S4R37A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 24x7 サポート付) *3	230,000 円	
G3J28AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	230,000 円	
S4R41A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	404,000 円	
G3J31AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	404,000 円	
S4R38A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	656,000 円	
G3J30AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	656,000 円	
S4R42A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	673,000 円	
G3J33AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	673,000 円	
S4R39A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	1,092,000 円	
G3J32AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	1,092,000 円	
Red Hat Enterprise Linux Server : 2 ソケット サーバー+4 ゲスト OS 用			
S4R46A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 1 年 標準時間 サポート付) *1	213,000 円	
G5J63AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 1 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	213,000 円	
S4R45A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 1 年 24x7 サポート付) *3	346,000 円	
G5J62AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 1 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	346,000 円	
S4R48A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	605,000 円	
G5J65AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	605,000 円	
S4R47A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	984,000 円	
G5J64AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	984,000 円	
Q0D23A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	1,009,000 円	
Q0D23AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	1,009,000 円	
Q0D22A	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	1,638,000 円	
Q0D22AAE	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット 4 ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	1,638,000 円	

* 上記製品は、HPE プラットフォーム上での使用が動作条件となります。(HPE 製サーバー以外での使用はサポートされません。)

* 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。

* 上記のライセンス製品には、Red Hat のサブスクリプション、HPE カスタマー サポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。

* 上記のライセンス製品にメディアは添付しておりません。メディアの入手については、下記を参照ください。

・ Web からダウンロード : Red Hat の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://access.redhat.com/downloads>

ダウンロードによるインストール メディアの入手には Red Hat Network 登録後に入手可能です。

Red Hat Network については 3 頁先のユーザー登録方法を参照ください

* 1 : 標準時間サポートの契約時間は、祝祭日および年末年始(12/30~1/3)を除いた月曜日~金曜日の 8:45~17:30 となります。

* 2 : E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。

送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

* 3 : Extended Update Support (EUS) 標準添付。EUS は、更新のサポートを 2 年間 (通常は半年) に延長するアドオン製品です。システムの柔軟性を向上させます。EUS の詳細については右記の Web サイトを参照ください。 <http://h50146.www5.hp.com/services/cs/availability/sw/rhel1.html>

◆上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。

◆保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。

2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

【製品】 つづき
サブスクリプション製品 (つづき)

製品番号	製品名	税抜価格	備考
Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters : 2 ソケット サーバー毎、無制限ゲスト OS 用			
S4R34A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 標準時間 サポート付) *1	443,000 円	・ 1 年間標準時間テクニカル サポート バンドル
G3J23AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	443,000 円	
S4R31A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 24x7 サポート付) *3	709,000 円	・ 1 年間 24x7 テクニカル サポート バンドル
G3J22AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	709,000 円	
S4R35A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	1,261,000 円	・ 3 年間標準時間テクニカル サポート バンドル
G3J25AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	1,261,000 円	
S4R32A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	2,017,000 円	・ 3 年間 24x7 テクニカル サポート バンドル
G3J24AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	2,017,000 円	
S4R36A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	2,100,000 円	・ 5 年間標準時間テクニカル サポート バンドル
G3J27AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *1,2	2,100,000 円	
S4R33A	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	3,358,000 円	・ 5 年間 24x7 テクニカル サポート バンドル
G3J26AAE	Red Hat Enterprise Linux Virtual Datacenters (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	3,358,000 円	

- * 上記製品は、HPE プラットフォーム上での使用が動作条件となります。(HPE 製サーバー以外での使用はサポートされません。)
- * 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。
- * 上記のライセンス製品には、Red Hat のサブスクリプション、HPE カスタマー サポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。
- * 上記のライセンス製品にメディアは添付しておりません。メディアの入手については、下記を参照ください。
 - ・ Web からダウンロード : Red Hat の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://access.redhat.com/downloads>
 - ダウンロードによるインストール メディアの入手には Red Hat Network 登録後に入手可能です。
 - Red Hat Network については 3 頁先のユーザー登録方法を参照ください
- * 1 : 標準時間サポートの契約時間は、祝祭日および年末年始(12/30~1/3)を除いた月曜日~金曜日の 8:45~17:30 となります。
- * 2 : E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。
- * 3 : Extended Update Support (EUS) 標準添付。EUS は、更新のサポートを 2 年間 (通常は半年) に延長するアドオン製品です。システムの柔軟性を向上させます。EUS の詳細については右記の Web サイトを参照ください。 <http://h50146.www5.hp.com/services/cs/availability/sw/rhel1.html>

- ◆ 上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。
- ◆ 保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいた場合、保守期間は合計とはなりません。2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

【製品】 つづき

Red Hat SAP 用 サブスクリプション製品

Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications / Solutions は、SAP の基幹系ビジネスアプリケーションのためのソリューションです。Red Hat Enterprise Linux での SAP システムの新規構築や移行を容易に実施することができます。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications : 2 ソケット サーバーもしくは、2 ゲスト OS 用			
Q5W19A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	404,000 円	・ 3 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q5W19AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	404,000 円	
Q5W20A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	656,000 円	・ 3 年間 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q5W20AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	656,000 円	
Q5W21A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	673,000 円	・ 5 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q5W21AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	673,000 円	
Q5W22A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	1,092,000 円	・ 5 年間 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q5W22AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	1,092,000 円	
Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters : 2 ソケット サーバー毎、無制限ゲスト OS 用			
Q5W23A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	1,261,000 円	・ 3 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q5W23AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	1,261,000 円	
Q5W24A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	2,017,000 円	・ 3 年 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q5W24AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	2,017,000 円	
Q5W25A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	2,100,000 円	・ 5 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q5W25AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	2,100,000 円	
Q5W26A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	3,358,000 円	・ 5 年 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q5W26AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Applications Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	3,358,000 円	

* RHEL for SAP Solutions は、RHEL for SAP Applications と RHEL for SAP HANA の機能を統合した製品です。

* 上記製品は、HPE プラットフォーム上での使用が動作条件となります。(HPE 製サーバー以外での使用はサポートされません。)

* 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。

ただし、RHEL for SAP Solutions / SAP Solutions Virtual Datacenter は、RHEL 7.2 以上で利用可能

* 上記のライセンス製品には、Red Hat のサブスクリプション、HPE カスタマー サポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。

* 上記のライセンス製品にメディアは添付していません。メディアの入手については、下記を参照ください。

・ Web からダウンロード: Red Hat の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://access.redhat.com/downloads>

ダウンロードによるインストール メディアの入手には Red Hat Network 登録後に入手可能です。

Red Hat Network については次々頁のユーザー登録方法を参照ください

SAP 製品を利用するために必要な、追加のパッケージは専用 Web サイト「Red Hat SAP Server」より入手可能です。

* HPE OEM 版 RHEL for SAP Application / Solutions サブスクリプションで提供されるサポートは Red Hat リテール版で提供される「Red Hat と SAP の協同サポート」とは異なります。通常版の RHEL 上で SAP を動作させている時と同様に、お客様にて問題が SAP に起因するの RHEL に起因するのかを切り分けていただき、RHEL に起因する問題のみ当製品保守窓口にお問い合わせください。

* 1: 標準時間サポートの契約時間は、祝祭日および年末年始(12/30~1/3)を除いた月曜日~金曜日の 8:45~17:30 となります。

* 2: E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。

送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

* 3: Extended Update Support (EUS) 標準添付。EUS は、更新のサポートを 2 年間 (通常は半年) に延長するアドオン製品です。システムの柔軟性を向上させます。EUS の詳細については右記の Web サイトを参照ください。 <http://h50146.www5.hpe.com/services/cs/availability/sw/rhel1.html>

◆ 上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。

◆ 保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。

2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

【製品】 つづき
Red Hat SAP 用 サブスクリプション製品 (つづき)

製品番号	製品名	取扱価格	備考
Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions : 2 ソケット サーバーもしくは、2 ゲスト OS 用			
Q8U21A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	882,000 円	・ 3 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q8U21AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	882,000 円	
Q8U19A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	1,084,000 円	・ 3 年間 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q8U19AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	1,084,000 円	
Q8U22A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	1,471,000 円	・ 5 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q8U22AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	1,471,000 円	
Q8U20A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	1,807,000 円	・ 5 年間 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q8U20AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	1,807,000 円	
Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters : 2 ソケット サーバー毎、無制限ゲスト OS 用			
Q8U17A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付) *1	2,823,000 円	・ 3 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q8U17AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	2,823,000 円	
Q8U15A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付) *3	3,425,000 円	・ 3 年 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q8U15AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 3 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	3,425,000 円	
Q8U18A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付) *1	4,702,000 円	・ 5 年間 標準時間 テクニカル サポートバンドル
Q8U18AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 標準時間 サポート付 E メール納品) *2	4,702,000 円	
Q8U16A	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付) *3	5,708,000 円	・ 5 年 24x7 テクニカル サポートバンドル
Q8U16AAE	Red Hat Enterprise Linux for SAP Solutions Virtual Datacenters (2 ソケット無制限ゲスト 5 年 24x7 サポート付 E メール納品) *2,3	5,708,000 円	

- * RHEL for SAP Solutions は、RHEL for SAP Applications と RHEL for SAP HANA の機能を統合した製品です。
- * 上記製品は、HPE プラットフォーム上での使用が動作条件となります。(HPE 製サーバー以外での使用はサポートされません。)
- * 上記のライセンス製品は、バージョンレス パッケージです。
- ただし、RHEL for SAP Solutions / SAP Solutions Virtual Datacenter は、RHEL 7.2 以上で利用可能
- * 上記のライセンス製品には、Red Hat のサブスクリプション、HPE カスタマー サポートによるソフトウェア テクニカル サポートが提供されます。
- * 上記のライセンス製品にメディアは添付しておりません。メディアの入手については、下記を参照ください。
 - ・ Web からダウンロード : Red Hat の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://access.redhat.com/downloads>
 - ダウンロードによるインストール メディアの入手には Red Hat Network 登録後に入手可能です。
 - Red Hat Network については次々頁のユーザー登録方法を参照ください
 - SAP 製品を利用するために必要な、追加のパッケージは専用 Web サイト「Red Hat SAP Server」より入手可能です。
- * HPE OEM 版 RHEL for SAP Application / Solutions サブスクリプションで提供されるサポートは Red Hat リテール版で提供される「Red Hat と SAP の協同サポート」とは異なります。通常版の RHEL 上で SAP を動作させている時と同様に、お客様にて問題が SAP に起因するのか RHEL に起因するのかを切り分けていただき、RHEL に起因する問題のみ当製品保守窓口にお問い合わせください。
- * 1 : 標準時間サポートの契約時間は、祝祭日および年末年始(12/30~1/3)を除いた月曜日~金曜日の 8:45~17:30 となります。
- * 2 : E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。
- * 3 : Extended Update Support (EUS) 標準添付。EUS は、更新のサポートを 2 年間 (通常は半年) に延長するアドオン製品です。システムの柔軟性を向上させます。EUS の詳細については右記の Web サイトを参照ください。 <http://h50146.www5.hpe.com/services/cs/availability/sw/rhel1.html>

◆ 上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。

◆ 保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。2 年や 4 年、および数ヶ月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

【製品】 つづき

Red Hat アドオン製品

Red Hat アドオン製品として、下記サブスクリプションを HPE から提供します。

- High-Availability アドオン : オンデマンドのフェイル オーバー機能により、アプリケーションの高い可用性を実現します。
- Resilient Storage アドオン : 共有ストレージ上のクラスター化ファイル システムで、クラスター内のどのサーバーからも同じファイル システムへのアクセスを可能にします。
- Network Load Blancer アドオン : Linux Virtual Server (LVS) による Web サービス、データベース、ネットワークングおよびストレージの冗長性を実現します。
- Smart Management アドオン : Red Hat Network Satellite の管理およびプロビジョニング モジュールが含まれており、これを使用して RHEL の開発、テスト、および本番システムのプロビジョニング、パッチ適用、設定、および完全制御を行うことができます。

その他にも、リテール版にはスケーラビリティに関する Scalable File System アドオンや High Performance Network アドオン、そしてライフサイクル管理に関する Extended Update Support アドオン(24x7 サブスクリプションには標準で含まれます)、Advanced Mission Critical Update Support アドオン (AUS) (6 年長期サポート) のアドオン製品があります。

アドオン製品の機能の詳細については、右記の Red Hat の Web サイトを参照ください。 <http://www.jp.redhat.com/rhel/add-ons/>

HPE から提供する Red Hat アドオン製品のサブスクリプションには、サポート契約期間 (標準または 24x7) の区別がありません。

対象サーバーに対して購入いただいている HPE OEM 版 RHEL サブスクリプションのサポート契約時間に準拠します。

なお、HPE からサポートが提供されないリテール品のアドオン製品を使う場合は、対象サーバーの Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションにおいてもリテール品の購入が必要となりますので、ご注意ください。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
S4T22A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年)	71,000 円	
G3J34AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 E メール納品) *1	71,000 円	
S4T23A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年)	202,000 円	
G3J35AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 E メール納品) *1	202,000 円	
Q0D25A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年)	336,000 円	
Q0D25AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 E メール納品) *1	336,000 円	
S4T26A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年)	221,000 円	
G5J66AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 E メール納品) *1	221,000 円	
S4T27A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年)	629,000 円	
G5J67AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 E メール納品) *1	629,000 円	
Q0D26A	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年)	1,046,000 円	
Q0D26AAE	Red Hat High Availability アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 E メール納品) *1	1,046,000 円	
S4T24A	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年)	143,000 円	
G3J36AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 1 年 E メール納品) *1	143,000 円	
G5J68AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 1 年 E メール納品) *1	441,000 円	
S4T25A	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年)	404,000 円	
G3J37AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 3 年 E メール納品) *1	404,000 円	• High-Availability アドオンも含まれます。
G5J69AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 3 年 E メール納品) *1	1,258,000 円	
Q0D29A	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年)	673,000 円	
Q0D29AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット or 2 ゲスト 5 年 E メール納品) *1	673,000 円	
Q0D30A	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年)	2,097,000 円	
Q0D30AAE	Red Hat Resilient Storage アドオン (2 ソケット 無制限ゲスト 5 年 E メール納品) *1	2,097,000 円	
R2A00A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (1 年)	64,000 円	• Red Hat Smart Management に Satellite、Insight が同梱
R2A00AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (1 年 E メール納品) *1	64,000 円	
R2A01A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (3 年)	178,000 円	
R2A01AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (3 年 E メール納品) *1	178,000 円	
R2A02A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (5 年)	296,000 円	
R2A02AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット or 2 ゲスト (5 年 E メール納品) *1	296,000 円	
R2A03A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (1 年)	217,000 円	
R2A03AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (1 年 E メール納品) *1	217,000 円	
R2A04A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (3 年)	619,000 円	
R2A04AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (3 年 E メール納品) *1	619,000 円	
R2A05A	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (5 年)	1,030,000 円	
R2A05AAE	Red Hat Smart Management アドオン with Satellite 2 ソケット 無制限ゲスト (5 年 E メール納品) *1	1,030,000 円	

* : 上記ライセンス製品にメディアは含まれません (ダウンロードまたは別売)。

Web からダウンロード : Red Hat の Web サイトにて OS メディアをダウンロードしてください。 <https://access.redhat.com/downloads>

ダウンロードによるインストール メディアの入手には Red Hat Network 登録後に入手可能です。

Red Hat Network については次頁のユーザー登録方法を参照ください。

*1 : E メール納品とは、物理的なライセンス証書を発行せず、電子メールにてライセンス証書情報を送付するライセンス発行方式です。送付メール アドレスなどの情報が必要となります。購入については、別途お問い合わせください。

- ◆上記ライセンス製品は、1 年間 / 3 年間 / 5 年間 24 時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Basic または Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。
- ◆保守がバンドルされたソフトウェア製品については、同じ型番を複数購入いただいても、保守期間は合計とはなりません。2 年や 4 年、および端数月の保守契約をご希望される場合は、別途次年度保守契約として提供しております。

【製品】 つづき

Red Hat Satellite 製品

Red Hat Satellite は、Linux のデプロイ、拡張、および管理を容易にするシステム管理プラットフォームです。ライフサイクル管理によって総所有コスト (TCO) を削減し、企業の成長に合わせて IT 環境を拡張できます。Red Hat のシステム管理ソリューションである Red Hat Satellite をデプロイすることで、システム プロビジョニング、設定管理、コンテンツ管理、スケーラビリティおよびセキュリティが大幅に改善されます。

Red Hat Satellite の詳細については、Red Hat の下記 Web サイトを参照してください。
<https://www.redhat.com/ja/technologies/management/satellite>

Red Hat EUS / AUS アドオンについて

RHEL Extended Update Support (EUS) (2 年拡張サポート)

RHEL は約半年毎にマイナー リリース (6.x 等) がリリースされます。標準のサポートでの修正は、最新のマイナー リリースに対してのみ提供されます。つまり、常に最新の修正を受けるには、約半年毎にマイナー リリースのアップデートが必要となります。EUS は特定のマイナー リリースについて、リリース日から 2 年間、重大影響度のセキュリティ修正と一部の緊急優先度のバグ修正を提供するアドオン製品です。EUS によりマイナー リリースのアップデート作業の頻度を減らし、アップデートに関わるアプリケーションの検証等のコストを削減することが可能となります。

RHEL のライフ サイクル及び EUS の詳細については、下記 Web サイトを参照ください。
<https://access.redhat.com/support/policy/updates/errata>
 各マイナーリリースのリリース日については、下記 Web サイトを参照ください。
<https://access.redhat.com/articles/3078>

RHEL Advanced Mission Critical Update Support (AUS) (6 年長期サポート)

AUS は EUS と同等のサポート内容をリリース日から 6 年間提供するアドオン製品です。EUS より更に長期間のサポートを提供することにより、大幅なコスト削減が実現できます。

AUS の対象となるマイナー リリース、及び期間は下記に限られます (2020 年 8 月時点)。

リリースバージョン	リリース日	AUS サポート終了日	リリースバージョン	リリース日	AUS サポート終了日
RHEL 6.5 AUS	2013/11/21	2020/11/30	RHEL 7.4 AUS	2017/07/31	2023/08/31
RHEL 6.6 AUS	2014/10/14	2020/11/30	RHEL 7.6 AUS	2018/10/30	2024/06/30*1
RHEL 7.2 AUS	2015/11/19	2021/11/30	RHEL 7.7 AUS	2019/08/06	2025/08/31
RHEL 7.3 AUS	2016/11/03	2022/11/30	RHEL 8.2 AUS	2020/04/28	2026/04/30

*1: リリース日から 6 年間もしくはメンテナンス フェーズ終了日のいずれか早い方が設定されます。

※EUS アドオンについては、24x7 サポートのサブスクリプションに標準に含まれます。つまり、標準時間サポートのサブスクリプション製品に対しての適用となります。

※AUS は RHEL ベース サブスクリプションへのアドオン サブスクリプションとなります。AUS はアドオン先の RHEL ベース サブスクリプションと同期間の購入が必要です。

HPE では、個別対応にて Red Hat EUS / AUS アドオン製品に対応しています。詳細については、下記 Web サイトを参照してください。
<https://h50146.www5.hpe.com/services/cs/availability/sw/rhel1.html>

【Red Hat Enterprise Linux のユーザー登録方法】

HPE が OEM 提供する Red Hat 製品は、お客様が Red Hat のエンタープライズ契約に同意頂く前提で販売しています。購入前に契約内容をご確認ください。
 レッドハットエンタープライズ契約: http://www.jp.redhat.com/licenses/Enterprise_Agr_Japan.pdf

また、Red Hat Enterprise Linux 製品に付随するサブスクリプション サービスをご利用いただくためには、購入された製品にて、Red Hat Network への登録が必要です。

HPE から Red Hat Enterprise Linux 製品を購入すると、製品に Entitlement Certificate (ライセンス権利付与証明書) が同梱されています。Entitlement Certificate に記載された Entitlement Order Number を使用して、30 日以内にマイライセンス ポータルで登録を完了してください。

マイライセンス ポータルで登録完了後、HPE アクティベーション キーを入手してください。

HPE アクティベーション キー取得後、Red Hat Network へログインし、サブスクリプションのアクティベーションを行ってください。

登録および登録手順については、下記 Web サイトを参照ください。

HPE Red Hat サブスクリプションの登録とアクティベーション Step by step guide :
https://h50146.www5.hpe.com/products/servers/document/pdf/redhatguide_2016.pdf

マイライセンスポータル: <https://myenterpriselicense.hpe.com/>

Red サブスクリプションについての FAQ: <https://access.redhat.com/ja/articles/64250>

【スタートアップ サービス】

Red Hat Enterprise Linux においては、ProLiant サーバーのスタートアップ サービスで対応されます。ProLiant サーバーのシステム構成図を参照してください。また、以下の Linux 用 OS インストールのスタートアップ サービスでも対応可能です。いずれかを選択してください。

製品番号	製品名	税抜価格	備考
U8141E	HPE スタートアップ OS インストール 標準時間 Linux 用	78,000 円	サービス内容 ・ Linux OS、X Window System、Service Pack for ProLiant インストール ・ Network インターフェイスへの TCP/IP ネットワーク パラメータ設定および NIC チューニング設定 ・ KVM 設定 対象 ・ SUSE Linux Enterprise Server ・ Red Hat Enterprise Linux (サーバー ハードウェア: ProLiant)

HPE ソフトウェア製品のサポート サービス

【ソフトウェア製品向け保守サービスの概要】

HPE のソフトウェア サービスは、HPE 製ソフトウェアおよび一部のサード パーティ製ソフトウェアに対する総合的なソフトウェア サポートを提供します。ソフトウェア サービスを利用することにより、お客様は HPE の技術者にソフトウェアに関する各種問い合わせを行うことができます。HPE の技術者は、お客様の質問に対し、ソフトウェアの機能や使用方法について回答し、ソフトウェアの問題については、お客様に対して問題解決のための支援を行います。また、サポート情報に関しオンラインでの情報提供を行います。お客様のシステム管理者は、ソフトウェア製品とサポートの情報をオンラインで検索できます。本サービスは、指定の HPE 製およびサード パーティ製ソフトウェアに対する新バージョンの使用許諾、およびソフトウェア メディア、関連するドキュメントの提供を含みます。

ソフトウェア サービスは、製品オプションのように簡単に選択、購入ができる便利なパッケージ サービスとしてご提供しています。ニーズに合わせて拡張オプションを必要とされる場合は、次年度保守契約として提供しております。

サポート サービスにおける基本提供サービスの内訳については、右記 Web サイトを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportservices-sw>

HPE 保守サービスのラインナップ：お客様に最適な保守サービスをお選びいただくために

標準保証 (翌営業日オンサイト)

- Tech Care Basic* (9x5 受付, 翌日対応)
- Tech Care Basic 4H (9x5 受付, 4 時間対応)
- Tech Care Essential (24x7 受付, 4 時間対応)

サービス提供時間帯の拡張、オンサイト受付時間の短縮、サポート範囲の拡大

* Tech Care Basic は個別見積になる製品がございます。
* 各サービスの詳細は右記を参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportservices-proliant>

各サービスの内容比較一覧

サポート内容	製品保証	Tech Care Basic *1 Tech Care Basic 4H *1	Tech Care Essential *1
障害発生事前回避型サービス/プロアクティブサービス			
一般的なテクニカル ガイダンス	×	○	○
ビデオ ライブラリ	×	○	○
エキスパートによるフォーラム対応	×	○	○
HPE サポートセンター 4 つのダッシュボード*2,3	×	○	○
障害発生後対応型サービス/リアクティブサービス			
重大障害への初動対応	×	×	15 分以内*4
自動通報*5	○	○	○
ソフトウェア製品向け保守サービス			
新バージョンの使用許諾	×	○	○
インストール方法に関する電話サポート	購入後 90 日間*6	○	○
機能および運用に関するサポート	×	○	○
ソフトウェア既知解決策の提供	×	○	○
ソフトウェアベンダーへのエスカレーション	×	○	○
ハードウェア製品向け保守サービス			
オンサイト応答時間：4 時間対応オプション	×	○	○
サービス受付時間：24x7 オプション	×	×	○
サービス期間延長：4 年/5 年/6 年/7 年オプション	×	○	○
故障ドライブ返却不要オプション	×	○	○
リモート障害診断およびサポート	○	○	○
オンサイト サポート	○*7	○	○
部品の提供	○	○	○
オンライン リモート サポート	○	○	○
ハードウェア、ISV ソフトウェアの障害切り分け支援*6	×	○	○
ソフトウェア既知解決策の提供*6	×	○	○
ソフトウェアベンダーへの調査依頼取り次ぎ*6	×	○	○

*1：一部のストレージ製品については、ソフトウェア、ハードウェア一体のサービスとして提供します。
 *2：サービスのご利用には HPE サポートセンターからサポート契約のリンクが必要で、詳細につきましては右記 Web サイトを参照ください。 https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04070658
 *3：対象ソフトウェア製品は Microsoft Windows Server、Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux Enterprise Server、VMware vSphere ESX / ESXi です。詳細につきましては右記 Web サイトを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>
 *4：インシデント重大度レベルが重大度 1 の時（重大なビジネス上への影響がある状態）に限り対応いたします。
 *5：当社と当社製品を接続してサービスを提供するためのリモート サポート ツール (GreenLake for Compute Ops Management、OneView リモートサポート、Insight Remote Support、3PAR リモートサポートのいずれか) の導入が必要です。プロアクティブ サービスはリモートからリモート サポート ツール、電子メール、FTP、電話等を用いて提供されます。
 *6：ProLiant サーバーに限定したサービスであり、ストレージ製品には提供されません。対象のソフトウェア製品は、HPE で OEM 販売をしている Microsoft、SUSE、Red Hat、VMware および Insight ソフトウェアなどの HPE 製品です。必要に応じてお客様に代わりソフトウェア開発元へ対応依頼を代行します。代行を行うのは SUSE、Red Hat、VMware に対してのみです。詳細は右記 Web サイトを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>
 *7：オンサイト保証の製品に限りです。詳細については右記 Web サイトを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportservices-proliant>

【OneView 製品のソフトウェア テクニカル サポート】

保守サービス製品名	対象製品	Tech Care Essential	
		4 年	5 年
OneView Advanced 1 サーバー ライセンス用	E5Y34A	HW3M8E 12,000 円	HW3M9E 23,400 円
OneView Advanced アップグレード ライセンス用	F6Q91A		
OneView Advanced iLO Advanced なし 1 サーバー ライセンス用	P8B24A	HW3N4E 10,100 円	HW3N5E 20,100 円

* この表内の価格は税抜価格です。

* 上記ライセンス製品は、3年間 24時間年中無休のテクニカル サポートおよびアップデート権 (Tech Care Essential サポートサービス相当) がバンドルされています。上記ライセンス取得時に保守登録が行われます。上記保守サービス製品を購入いただくことにより、3年間のソフトウェア サポート (テクニカル サポート(電話支援) およびアップデート権) を4、5年間へ拡張します。

【OS 製品のソフトウェア テクニカル サポート】

Windows Server 2022 用 HPE Tech Care サポート サービス

保守サービス製品名	対象製品番号	Tech Care Essential		
		3 年	4 年	5 年
Microsoft Windows Server 2022 Datacenter (16Core) 用	P46123-371	HW2X2E 789,400 円	HW2X3E 1,048,900 円	HW2X4E 1,308,400 円
Microsoft Windows Server 2022 Datacenter (16Core 追加) 用	P46212-B21	HW2Z0E 396,600 円	HW2Z2E 527,000 円	HW2Z3E 657,300 円
Microsoft Windows Server 2022 Datacenter (4Core 追加)用	P46213-B21	HW2Y2E 99,200 円	HW2Y7E 131,700 円	HW2Y8E 164,400 円
Microsoft Windows Server 2022 Datacenter (2Core 追加)用	P46214-B21	HW2X7E 49,600 円	HW2X8E 65,900 円	HW2Y0E 82,100 円
Microsoft Windows Server 2022 Standard (16Core) 用	P46171-371	HW2V3E 160,200 円	HW2V4E 212,800 円	HW2V6E 265,500 円
Microsoft Windows Server 2022 Standard (16Core 追加) 用	P46195-B21	HW2W8E 87,700 円	HW2W9E 116,600 円	HW2X0E 145,400 円
Microsoft Windows Server 2022 Standard (4Core 追加) 用	P46196-B21	HW2W2E 22,900 円	HW2W4E 30,400 円	HW2W5E 37,900 円
Microsoft Windows Server 2022 Standard (2Core 追加) 用	P46199-B21	HW2V8E 11,400 円	HW2V9E 15,100 円	HW2W0E 19,000 円
Microsoft Windows Server 2022 Essentials (10Core) 用	P46172-371	HW2Z5E 61,000 円	HW2Z6E 81,100 円	HW2Z7E 101,100 円

* この表内の価格は税抜価格です。

* ダウングレード権にて、購入された OS ライセンスと使用される OS のバージョンやエディションが異なる場合でも、購入された OS ライセンス用の保守契約を購入することが必要となります。

* 購入される Windows Server 2022 のコア ライセンス製品の購入数に対して、各保守契約を複数購入する必要があります。

(各コアライセンス製品の数=各コア製品用サポート サービス数、例：2コア追加ライセンスには、2コア追加ライセンス用の保守製品)

Windows Server 2022 Datacenter / Standard 16コア ライセンスのベース製品と 16コア追加ライセンス製品では、異なるサポート サービス製品となります。クライアント アクセス ライセンス数、仮想サーバー数は、上記サポート サービスでは、考慮する必要はありません。

* 上記サポート サービス製品において保守対象となる Windows Server 2022 OS 製品は、HPE OEM 版の他、リテール版も含まれます。サービス対象製品の詳細、およびサポートライフ サイクルは右記 Web サイトの対象製品リストを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>

* Windows Server 2022 用ソフトウェア テクニカル サポート製品の保守対象は、OS & APP 用となり、Microsoft Windows Server 2022 OS のほか、SQL Server、Exchange Server、SharePoint Server Standard、Backup アプリケーションなどを保守サービス対象に含みます。

サービス対象製品については、次々頁を参照ください。サービス対象製品の詳細、およびサポート ライフ サイクルは下記 Web サイトの対象製品リストを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>

Windows Server 2025 用 HPE Tech Care サポート サービス

保守サービス製品名	対象製品番号	Tech Care Essential		
		3年	4年	5年
Microsoft Windows Server 2025 Datacenter (16Core) 用	P77101-291	H48CQE 916,700 円	H48CRE 1,218,100 円	H48CSE 1,519,600 円
Microsoft Windows Server 2025 Datacenter (16Core 追加) 用	P77107-B21	H48DBE 458,400 円	H48DCE 609,100 円	H48DDE 759,800 円
Microsoft Windows Server 2025 Datacenter (4Core 追加)用	P77108-B21	H48CXE 115,200 円	H48CYE 153,100 円	H48CZE 191,000 円
Microsoft Windows Server 2025 Datacenter (2Core 追加)用	P77109-B21	H48CTE 57,800 円	H48CVE 76,700 円	H48CWE 95,800 円
Microsoft Windows Server 2025 Standard (16Core) 用	P77100-291	H48BZE 184,200 円	H48CBE 244,800 円	H48CCE 305,400 円
Microsoft Windows Server 2025 Standard (16Core 追加) 用	P77104-B21	H48CLE 101,100 円	H48CME 134,400 円	H48CNE 167,600 円
Microsoft Windows Server 2025 Standard (4Core 追加) 用	P77105-B21	H48CHE 25,700 円	H48CJE 34,100 円	H48CKE 42,500 円
Microsoft Windows Server 2025 Standard (2Core 追加) 用	P77106-B21	H48CDE 13,100 円	H48CFE 17,500 円	H48CGE 21,800 円
Microsoft Windows Server 2025 Essentials (10Core) 用	P77103-291	H48DFE 71,600 円	H48DGE 95,100 円	H48DHE 118,700 円

- * この表内の価格は税抜価格です。
- * ダウングレード権にて、購入された OS ライセンスと使用される OS のバージョンやエディションが異なる場合でも、購入された OS ライセンス用の保守契約を購入することが必要となります。
- * 購入される Windows Server 2025 のコア ライセンス製品の購入数に対して、各保守契約を複数購入する必要があります。
(各コアライセンス製品の数=各コア製品用サポート サービス数、例：2 コア追加ライセンスには、2 コア追加ライセンス用の保守製品)
Windows Server 2025 Datacenter / Standard 16 コア ライセンスのベース製品と 16 コア追加ライセンス製品では、異なるサポート サービス製品となります。
クライアント アクセス ライセンス数、仮想サーバー数は、上記サポート サービスでは、考慮する必要はありません。
- * 上記サポート サービス製品において保守対象となる Windows Server 2025 OS 製品は、HPE OEM 版の他、リテール版も含まれます。サービス対象製品の詳細、およびサポートライフ サイクルは右記 Web サイトの対象製品リストを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>
- * Windows Server 2025 用ソフトウェア テクニカル サポート製品は、**OS & APP 用となり**、Microsoft Windows Server 2025 OS のほか、SQL Server、Exchange Server、SharePoint Server Standard、Backup アプリケーションなどを保守サービス対象に含みます。
サービス対象製品については、次々頁を参照ください。サービス対象製品の詳細、およびサポート ライフ サイクルは下記 Web サイトの対象製品リストを参照ください。 <https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>

Windows Server OS 製品用ソフトウェア テクニカル サポートの対象製品リスト (アプリケーション)

Microsoft Windows Server 2022 / 2025 用保守の対象アプリケーション

アプリケーション製品	ベンダー	24 時間対応可否
SQL Server	Microsoft	○
Exchange Server		○
System Center Virtual Machine Manager		○
Configuration Manager Outlook * 弊社サポート対象サーバー製品のクライアントとしてご利用の場合に限る		—
Veritas Backup Exec Continuous Protection Server(CPS) / Active Directory エージェント/ Microsoft Exchange Server エージェント/ Microsoft SQL Server エージェント/ Microsoft SharePoint エージェント/ ORACLE エージェント on Windows、Linux Servers (Oracle RAC 除く) / Windows システム エージェント/ Central Admin Server オプション/ Desktop and Laptop オプション/ Library Expansion オプション/ SAN Shared Storage オプション/ Advanced Open File オプション Intelligent Disaster Recovery(IDR)オプション/ VMware & Hyper-V エージェント	Veritas	—

- ◆各開発元より無償提供されるコンポーネント ツールにおいては一部サポート対象外の製品もございます。ご不明の際はお問い合わせ下さい
- ◆OS 機能サポート対象範囲については、下記 Web サイトを参照してください。
<https://www.hpe.com/jp/supportlist-sw>

【HPE サービス クレジット】

当社規定のプロアクティブ サービス メニューから、お客様に必要なサービスを選択し、自由に組み合わせることができるプリペイド式のサービスパッケージです。

トレーニングを積んだ経験豊富なエンジニアによる、お客様の障害事前予防を支援するための数多くのプロアクティブ サービスメニューを用意しており、ご購入いただいたクレジット数に応じてサービスの選択が可能です。

当社のリモート クレジット アドバイザーはお客様のサービス メニューの選択を支援します。

サービス メニューの詳細は、右記 Web サイトの選択可能なサービス メニューをご確認ください。 <https://www.hpe.com/jp/support-credit>

サービス提供時間：月曜日～金曜日／8:45～17:30

* 祝祭日および年末年始 (12/30 ~ 1/3) を除く

* リモート クレジット アドバイザーの窓口対応時間は標準業務時間に準じます。

* 上記時間外にプロアクティブ サービスを提供する場合 1.5 倍のクレジットが必要です。

保守サービス製品名	型番	税抜価格	サービス内容
HPE サービスクレジット 1 年間 10 クレジット	U7EN6E	282,000 円	1 年間に 10 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 1 年間 30 クレジット	U7EP0E	846,000 円	1 年間に 30 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 3 年間 30 クレジット	U7EN7E	813,000 円	3 年間に 30 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 3 年間 90 クレジット	U7EP1E	2,439,000 円	3 年間に 90 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 4 年間 40 クレジット	U7EN8E	1,062,000 円	4 年間に 40 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 4 年間 120 クレジット	U7EP2E	3,186,000 円	4 年間に 120 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 5 年間 50 クレジット	U7EN9E	1,300,000 円	5 年間に 50 クレジット分のサービスを選択可能
HPE サービスクレジット 5 年間 150 クレジット	U7EP3E	3,900,000 円	5 年間に 150 クレジット分のサービスを選択可能

* この表内の価格は税抜価格です。